

IXIL サイクルポート AS-C 型

単独・基本・連棟・Y合掌・輪止め・スマート雨樋 取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補足

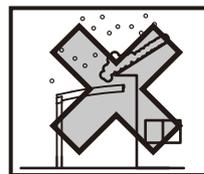
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

< 施工の前に >

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・自転車置き場の日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。
※ 施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
※ 建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※ 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。



お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・AC100V電線の埋設工事、配線作業については電気工事店の有資格者に依頼してください。

< 基礎工事について >

⚠ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・建築基準法による設置の場合は、設置場所・現地地耐力・設置条件によって基礎サイズが異なります。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

< 施工上のご注意 >

⚠ 注意

- ・アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・AC100V電線の埋設工事、配線作業については電気工事店の有資格者に依頼してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締め付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ※φ4ネジ : 2.5N・m±0.5N・m
 - ※φ5ネジ : 3.0N・m±0.5N・m
 - ※M6ボルト : 12.0N・m±0.5N・m
 - ※M8ボルト : 20.0N・m±0.5N・m

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。

< 施工の後に >

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。

お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

■表示マーク	3	■Y合掌タイプの施工	21
■施工の流れ	3	■ 姿図	21
■梱包明細表	4	1 基礎の墨出し	22
■各部の名称	7	2 合掌部の取付け	23
■基本タイプの施工	8	3 Y合掌連棟カバーの取付け	24
■ 姿図	8	4 Y合掌端部キャップの取付け	24
1 基礎の墨出し	9	■ 輪止めの施工	25
2 柱の建て込み準備	10	■ 姿図	25
3 柱、梁の組立て	10	1 基礎の墨出し	25
4 後枠・母屋・前枠の取付け	12	2 本体柱の加工	26
5 本体の連結	13	3 輪止めパイプキャップの組立て	26
6 部材の加工	16	4 輪止め束柱の設置	27
7 側枠の取付け	17	5 輪止めパイプの取付け	27
8 対角寸法の確認	18	6 小口キャップの取付け	28
9 垂木の取付け	18	■スマート雨樋の施工	29
10 屋根材の取付け	19	■ 構造図	29
11 側枠カバー・垂木カバーの取付け	19	1 部材の加工	30
12 縦樋の取付け	20	2 縦樋の組立て	31
		3 縦樋の取付け	32

表示マーク



「単独28型」を
施工の場合



「基本57型」または
「連棟」を施工の場合



Y合掌を
施工の場合



独立基礎で
施工の場合

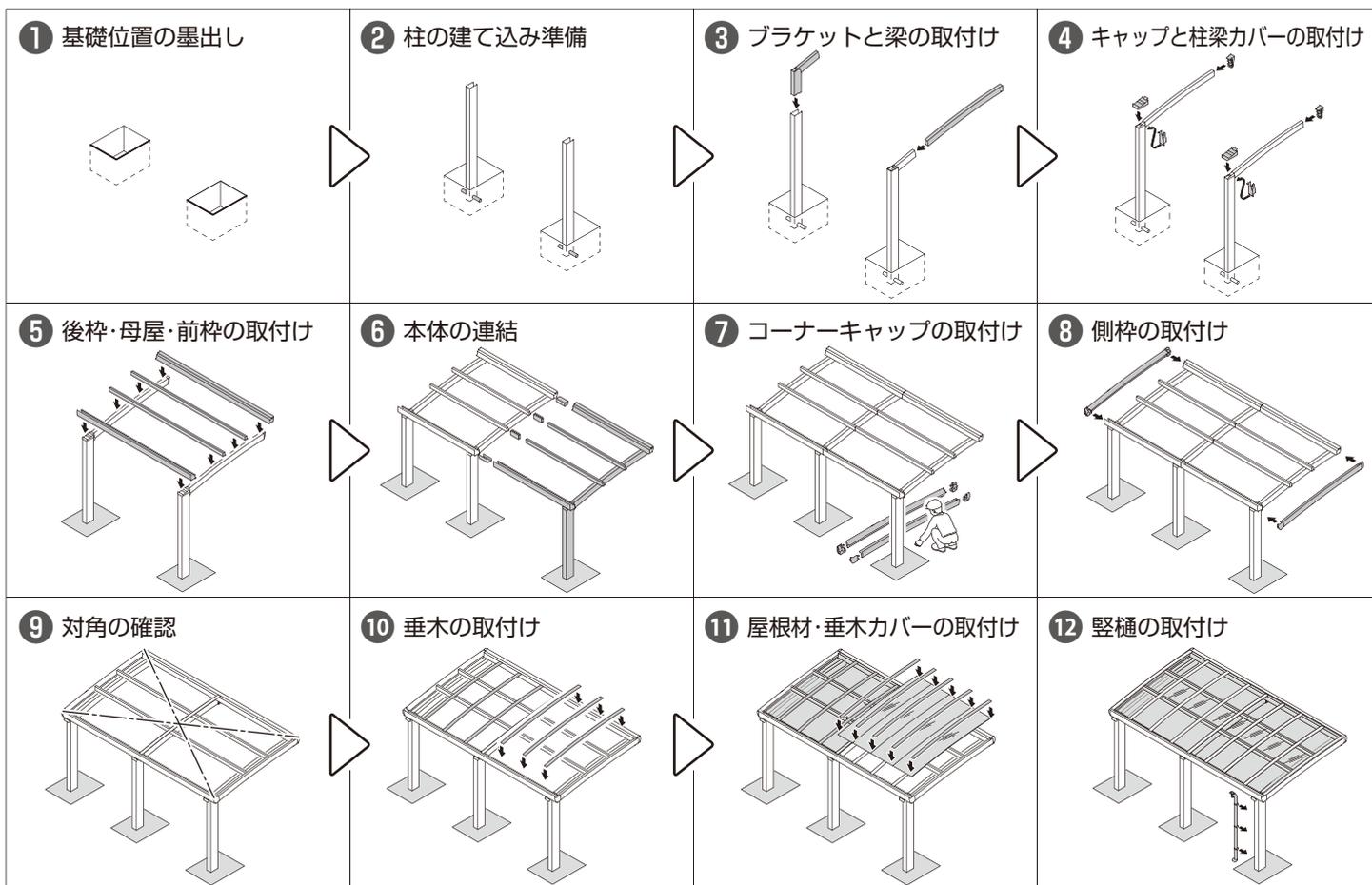


オプション
製品



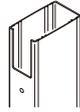
シーリング
箇所

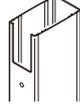
施工の流れ



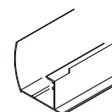
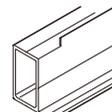
梱包明細表

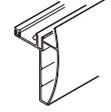
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

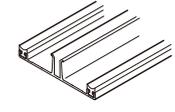
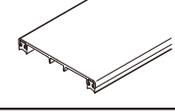
【1】標準柱セット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
標準柱		1	2

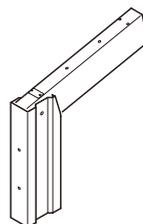
【2】ロング柱セット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
ロング柱		1	2

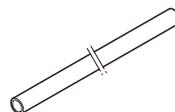
【3】梁セット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
梁		1	2

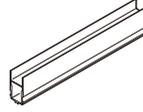
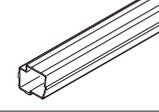
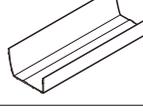
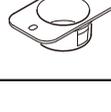
【4】長さセット		員数			
名称	略図	単独	右端部	左端部	連棟
前枠		1	1	1	1
後枠		1	1	1	1
母屋		2	2	2	2

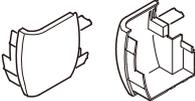
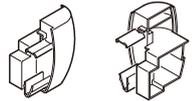
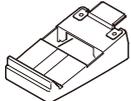
【5】幅セット		員数
名称	略図	
垂木		3
垂木カバー		3
側枠		左右各 1
側枠カバー		2

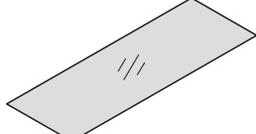
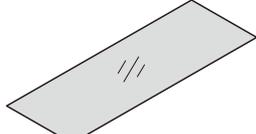
【6】連棟幅セット		員数
名称	略図	
垂木		4
垂木カバー		4

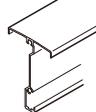
【7】ブラケットセット		員数	
名称	略図	1本入	2本入
ブラケット		1	2

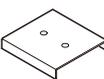
【8】縦樋セット		員数
名称	略図	
縦樋		1

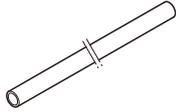
【9】部品セット		員数	
名称	略図	基本	連棟
母屋スリーブ		-	2
前枠スリーブ		-	1
後枠スリーブ		-	1
ドレンエルボ		1	1
92° エルボ		2	2
でんでん		3	3
雨樋アタッチメント		1	1

【9】 部品セット (つづき)		員数	
名称	略図	基本	連棟
雨樋パッキン		3	2
雨樋穴ふさぎキャップ		2	1
後枠コーナーキャップ		左右各1	-
前枠コーナーキャップ		左右各1	-
柱キャップ		2	1
柱梁カバー		2	1
梁キャップ		2	1
【9-1】 M8 × 20 六角ボルト (平座金・緩み止め付き)		14	7
【9-2】 φ 5 × 12 トラストッピンネジ 3種		189	146
【9-3】 φ 5 × 13 ナベドリルネジ		20	16
【9-4】 φ 4 × 13 ナベドリルネジ		3	35
φ 8 × 200 アンカー棒		2	1
取扱説明書	-	1	-
取付説明書	-	1	-
接着剤		1	1
孔隠しシールφ 10		20	10
雪下し指示シール		1	-

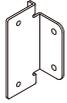
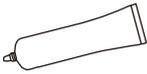
【10】 屋根材セット		員数	
名称	略図	4 枚入	2 枚入
屋根材 (ポリカーボネート)		4	-
屋根材 (FRP 板)		-	2

【11】 Y 合掌棟木セット		員数
名称	略図	
Y 合掌棟木		1

【12】 Y 合掌部品セット		員数	
名称	略図	基本	連棟
Y 合掌用柱連結金具		2	1
Y 合掌用固定金具		3	3
Y 合掌端部キャップ		2	-
Y 合掌連棟カバー		-	1
【12-1】 φ 4 × 20 トラストッピンネジ 2種		4	-
【12-2】 φ 4 × 13 ナベドリルネジ		3	5

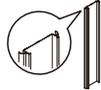
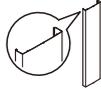
【13】 輪止めパイプセット オプション		員数
名称	略図	
輪止めパイプ		1

【14】 輪止め束柱セット オプション		員数
名称	略図	
輪止め束柱		1

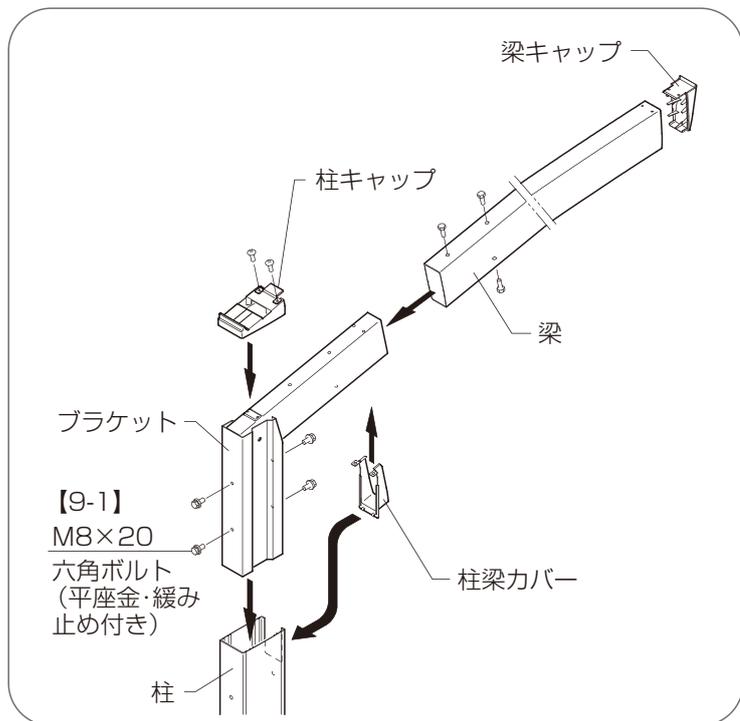
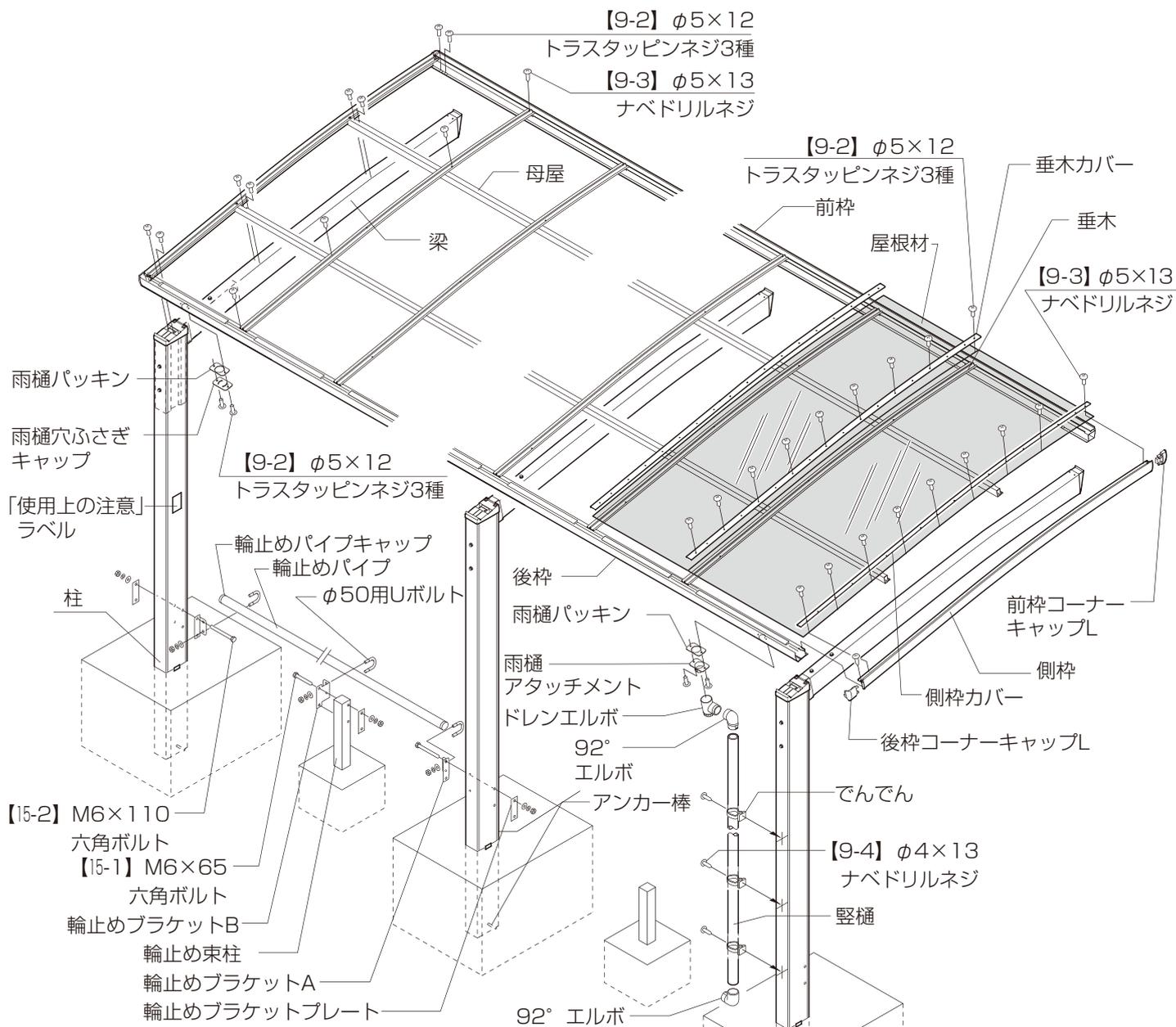
【15】 輪止め部品セット オプション		員数	
名称	略図	端部用	連棟用
輪止めブラケット A (本体柱用)		2	2
輪止めブラケット B (束柱用)		1	1
輪止めブラケットプレート		3	1
輪止めパイプキャップ		2	2
小口キャップ		11	9
接着剤		1	1
φ 50 用 U ボルト		3	3
【15-1】 M6 × 65 六角ボルト		2	2
【15-2】 M6 × 110 六角ボルト		4	2
【15-3】 M6 六角ナット		12	10
【15-4】 M6 バネ座金		18	14
【15-5】 M6 平座金		18	14

【16】 スマート雨樋部品セット オプション		員数
名称	略図	
横樋アタッチ (※)		1
上部雨樋部品		1
雨樋ドレイン		1
横樋アタッチ 端部キャップ (※)		1
下部排水受け		1
穴塞ぎキャップ (※)		1
【16-1】 φ 4 × 16 ナベドリルネジ ワッシャー付		12
【16-2】 φ 4 × 40 ナベタッピンネジ 2 種		4
【16-3】 φ 4 × 6 薄バインドタッピンネジ 3 種		3
【16-4】 φ 4 × 12 ナベタッピンネジ 3 種		2
取付説明書 <D608> (※)	-	1

(※) 印の部品、取付説明書は使用しません。

【17】 スマート雨樋セット オプション		員数
名称	略図	
縦樋		1
縦樋カバー		1

各部の名称



基本タイプの施工

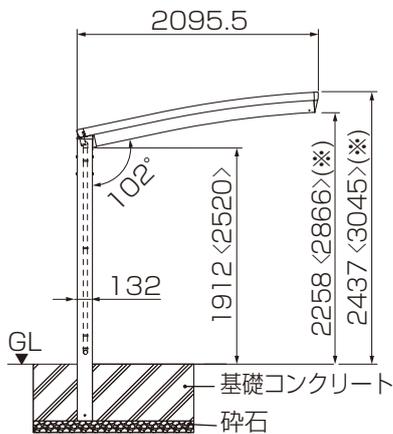
姿図



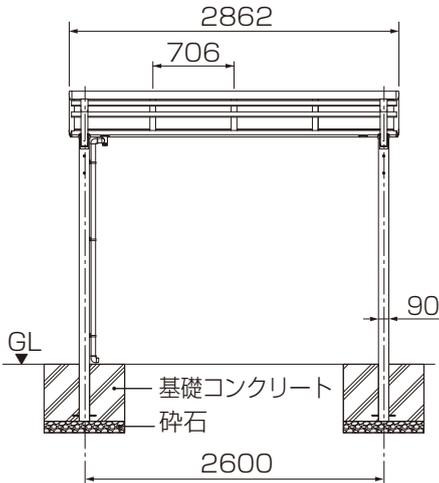
お願い

- ・柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。
- ・構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

【単独28型】



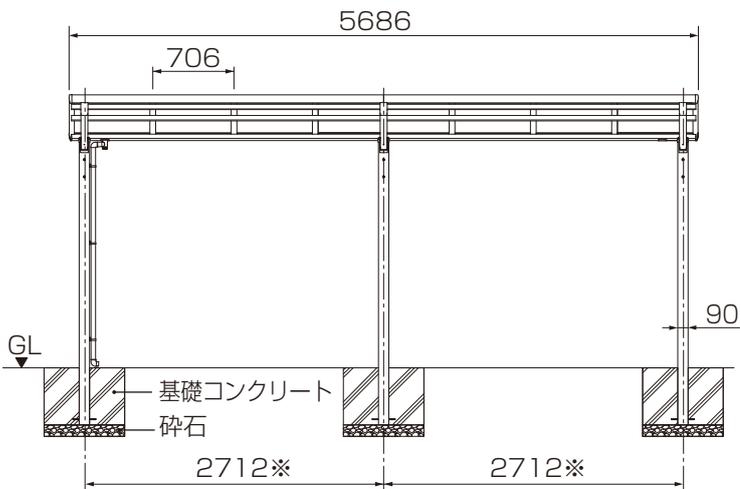
< > はロング柱仕様を示します。
(*) は参考寸法です。



お願い

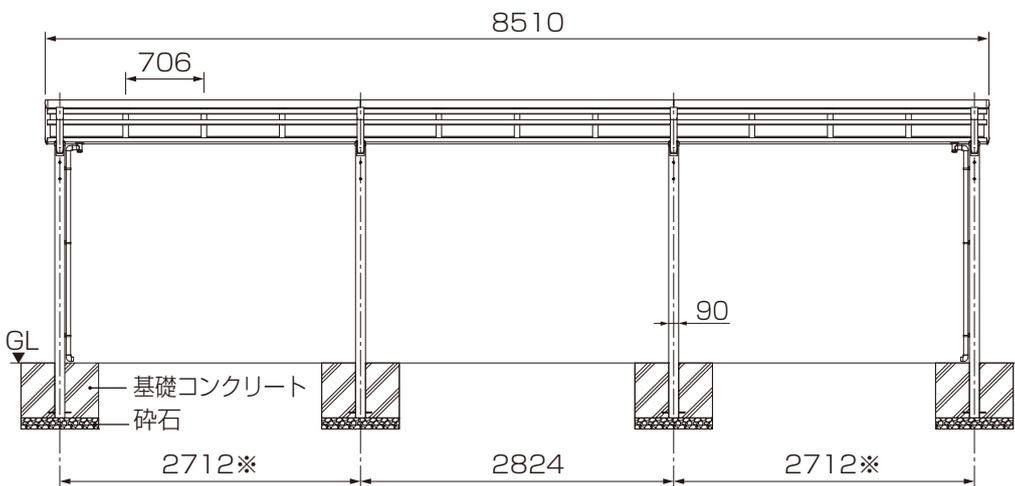
- ・【単独28型】は、屋根の切り詰めはできません。
- ・「屋根の切り詰め」の加工は連結部で行ないます。P.16を参照してください。

【基本57型】

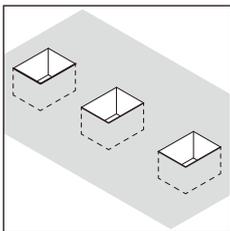


※屋根を切り詰めた場合は、柱ピッチが変わります。

【連棟57+(28×1)型】



1 基礎の墨出し

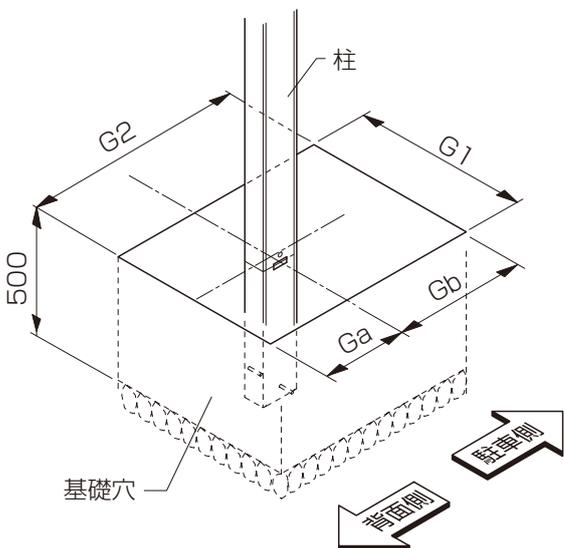


①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

お願い

【単独28型】は、屋根の切り詰めはできません。

※屋根を切り詰めた場合は、柱ピッチが変わります。

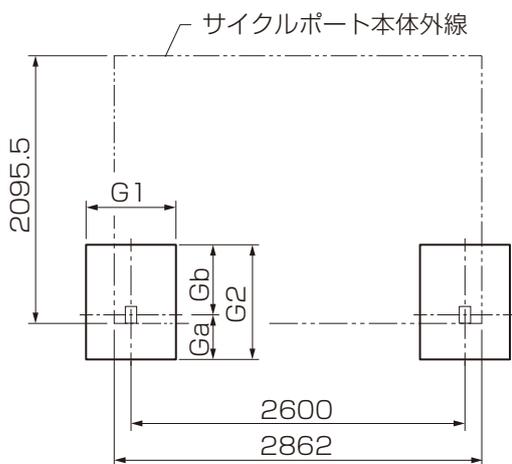


補足

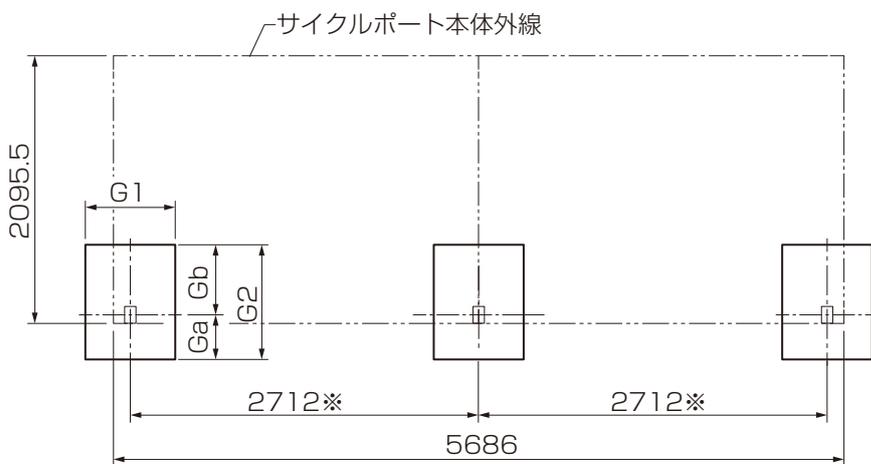
基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50 kN/m²の時の参考寸法です。

		G1	G2	Ga	Gb
標準柱	単独 28 型	700	900	350	550
	基本 57 型・連棟	800	1400	450	950
ロング柱	単独 28 型	800	1000	400	600
	基本 57 型・連棟	800	1500	450	1050

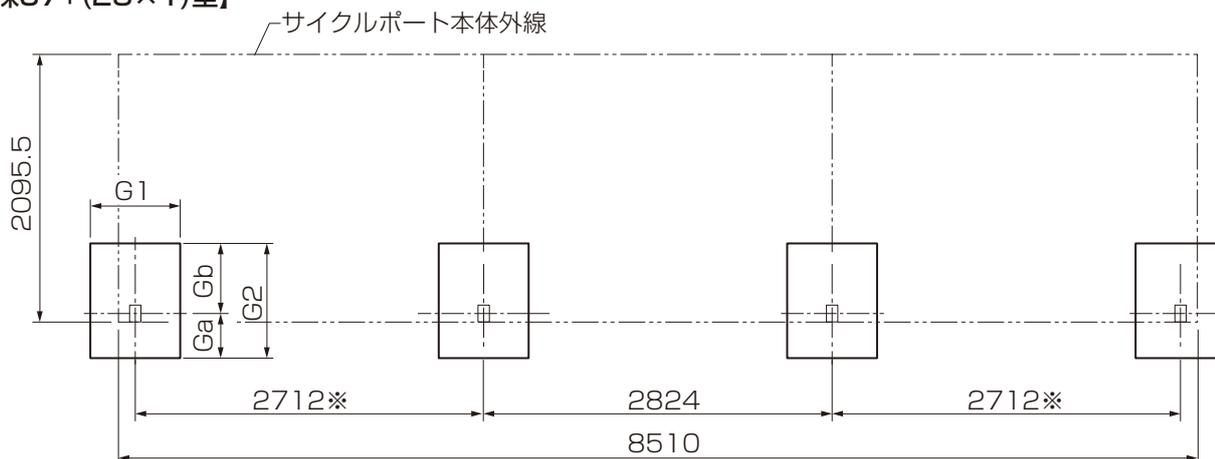
【単独28型】



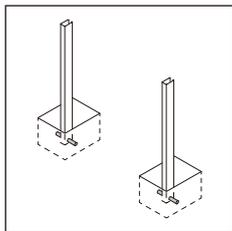
【基本57型】



【連棟57+(28×1)型】



2 柱の建て込み準備



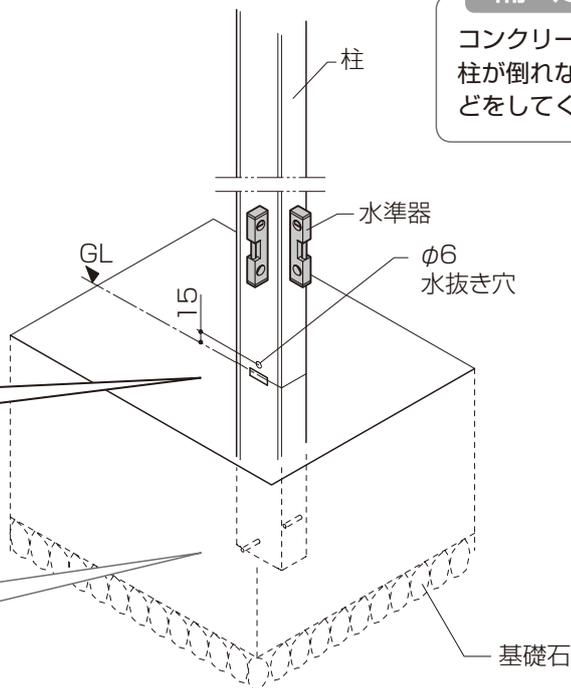
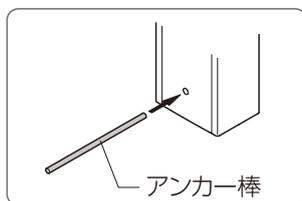
- ①アンカー棒を柱に差込んでください。
- ②柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。

お願い

柱の垂直を確認してください。

⚠ 注意

水抜き穴をあけないと、柱が破損するおそれがあります。

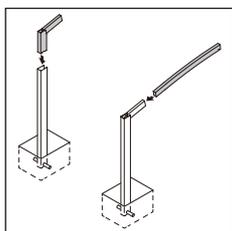


補足

コンクリートが固まるまで、柱が倒れないように添え木などをしてください。

3 柱、梁の組立て

1 ブラケットと梁の取付け

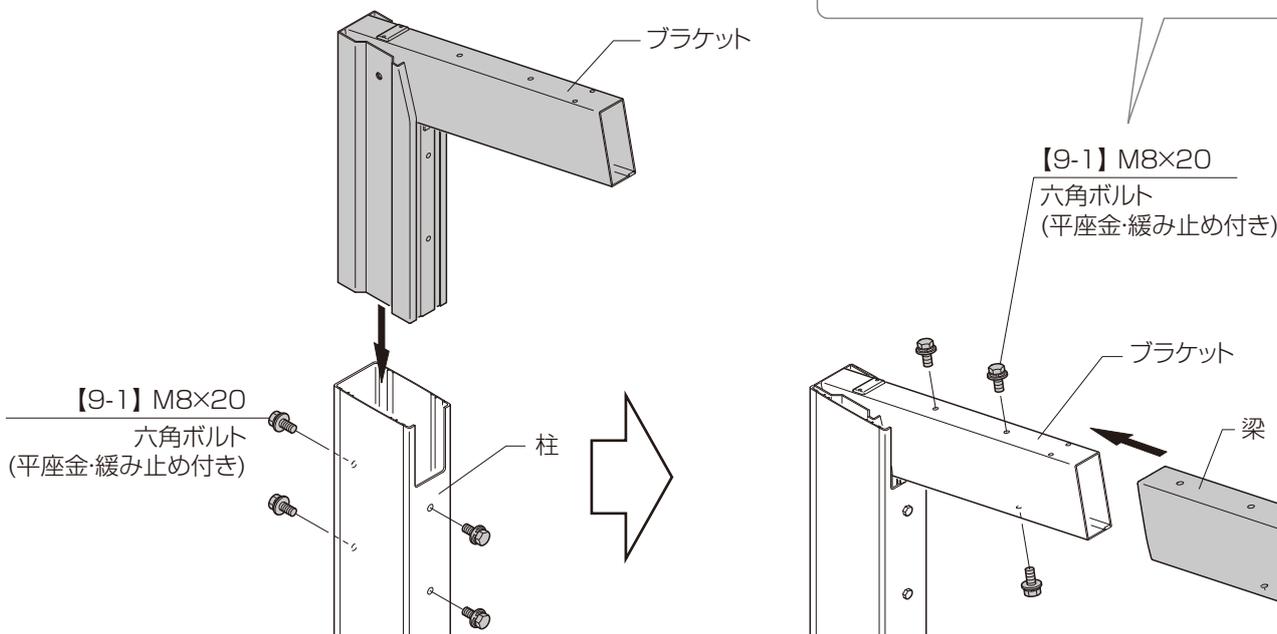


【Y合掌】の場合は、対応したページも参照してください。

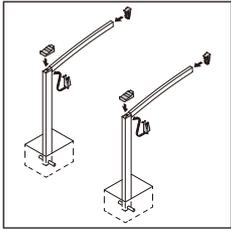
- ①ブラケットを柱に差込み【9-1】で仮止めしてください。
- ②梁をブラケットに差込み【9-1】で仮止めしてください。

お願い

緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。(締付け後、約24時間で硬化します。)



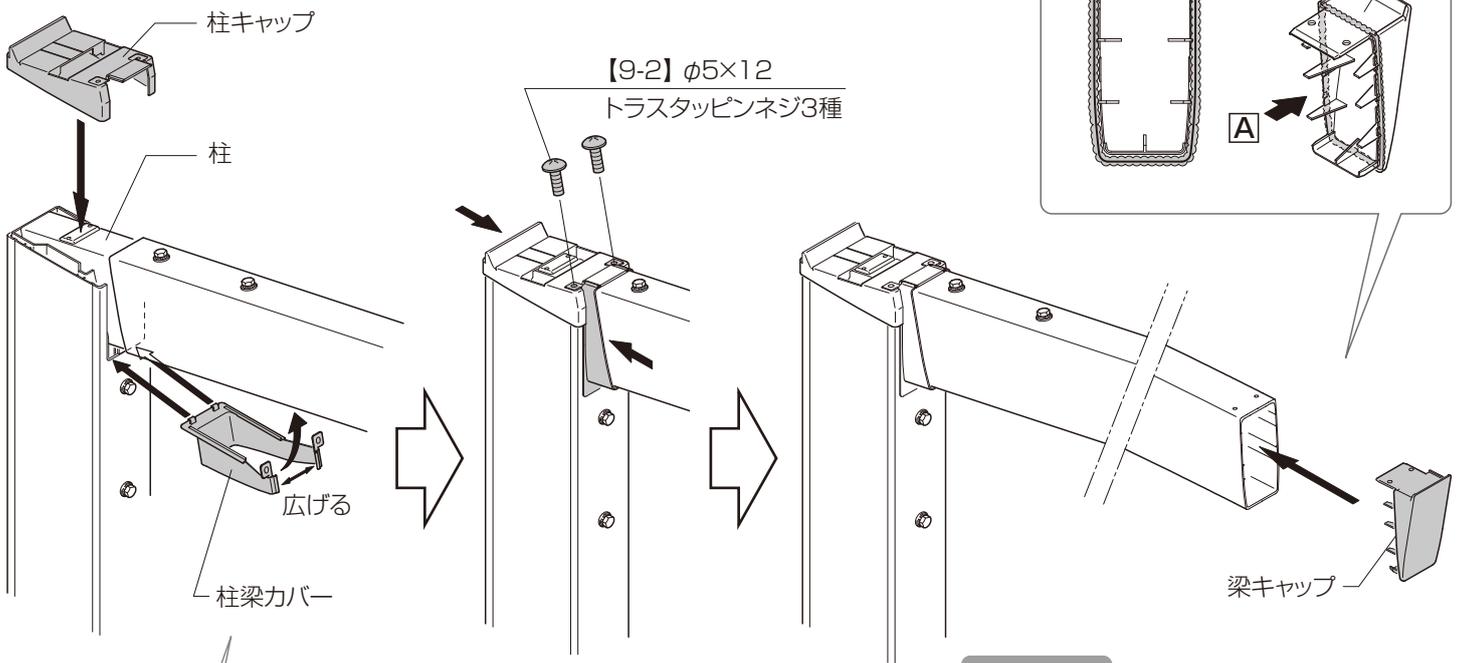
2 柱キャップ・柱梁カバー・梁キャップの取付け



- ① 柱キャップを柱にはめ込んでください。
- ② 柱梁カバーを柱の切欠き部にはめ込んでください。
- ③ 柱梁カバーを柱キャップに【9-2】で取付けてください。
- ④ 梁キャップにシーリングをし、梁に梁キャップをはめ込んでください。
- ⑤ 仮止めしていた【9-1】を固定してください。

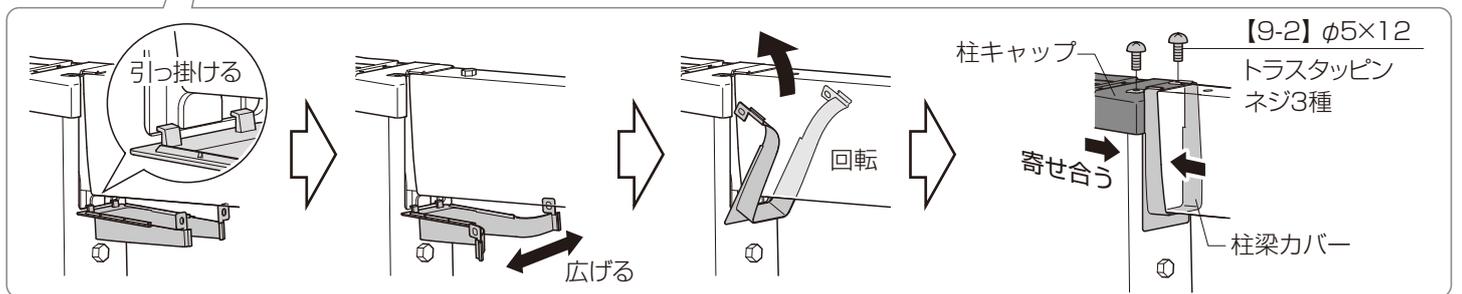
補足

この段階では、柱キャップ・柱梁カバーは多少ガタつきます。



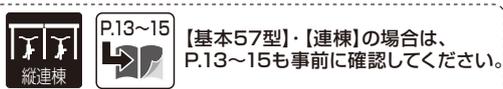
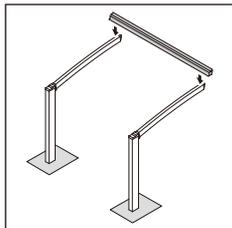
補足

キャップ取付後にはみ出たキャップのバリは取り除いてください。

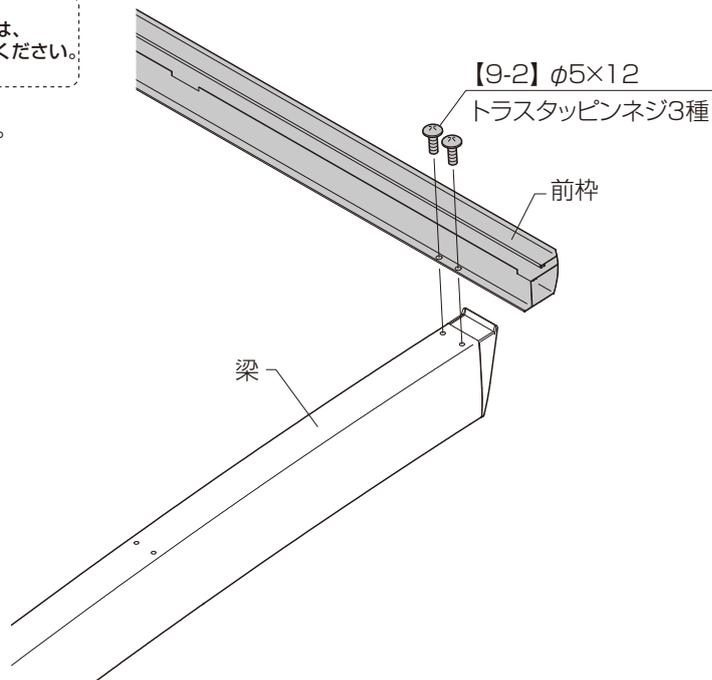


4 後枠・母屋・前枠の取付け

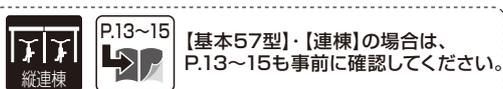
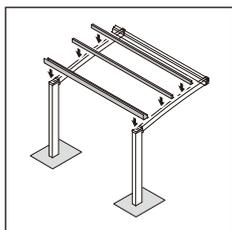
1 前枠の取付け



①前枠を梁に【9-2】で取付けてください。



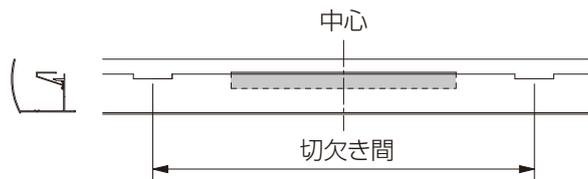
2 後枠・母屋の取付け



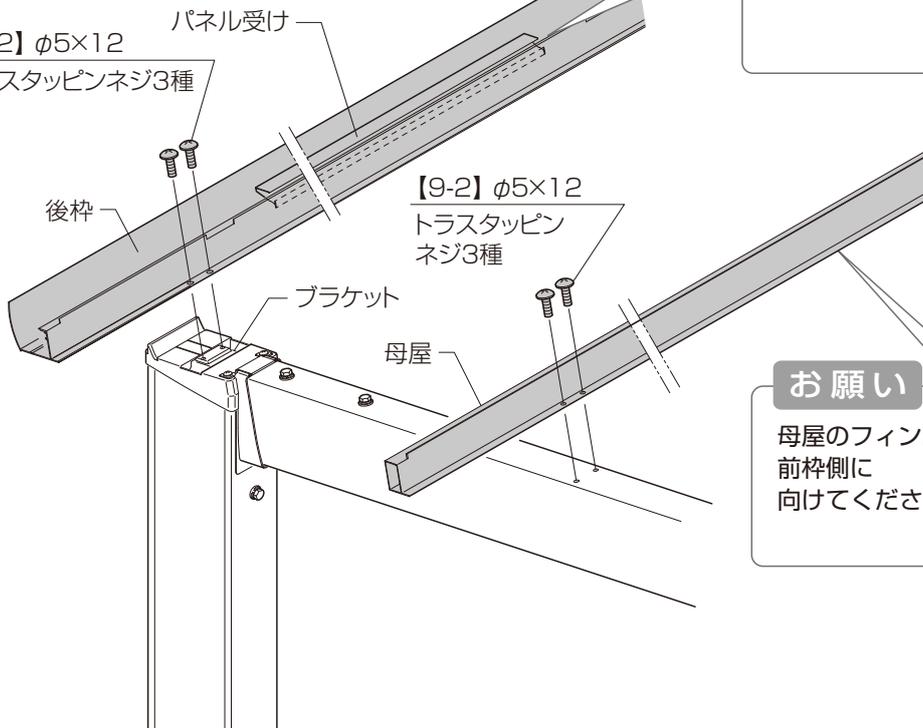
①後枠をブラケットに【9-2】で取付けてください。
②母屋を梁に【9-2】で取付けてください。

お願い

パネル受けを下図の位置に移動させてください。

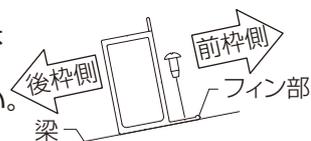


【9-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種



お願い

母屋のフィン
前枠側に
向けてください。



5 本体の連結

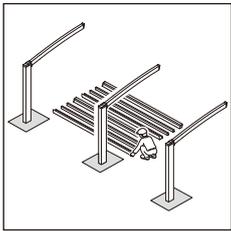


【基本 57 型】・【連棟】の場合の作業です。
 ※【単独 28 型】の場合、この作業は不要です。



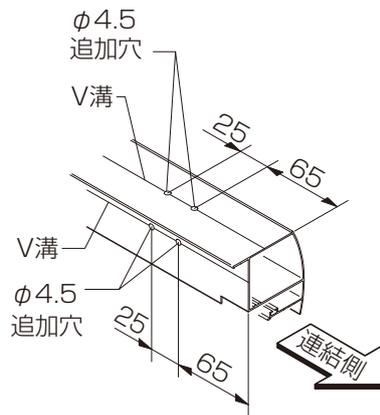
P.16
 【現場切り詰め】の場合は、P.16を参照してから下記の加工を行なってください。

1 連結部の加工



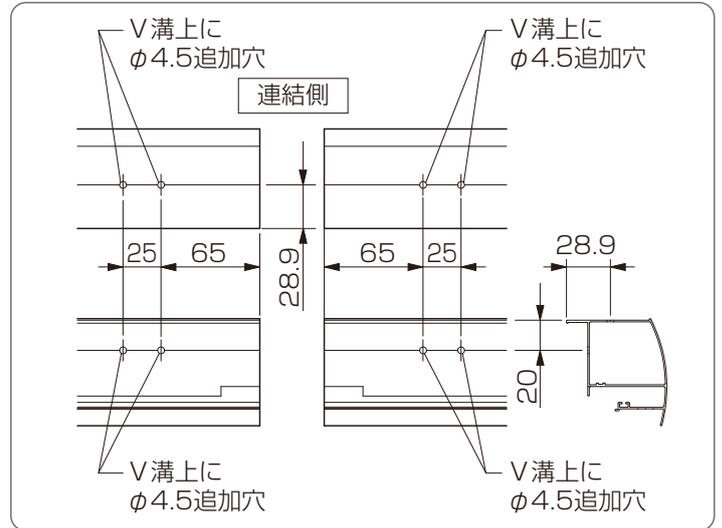
①前枠・母屋・後枠の連結側のV溝にφ4.5の穴をあけてください。

●前枠【下面から見る】

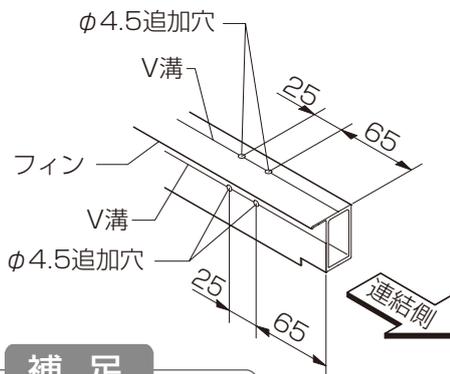


補 足

下穴をあけずに取付けると、ネジが破損するおそれがあります。

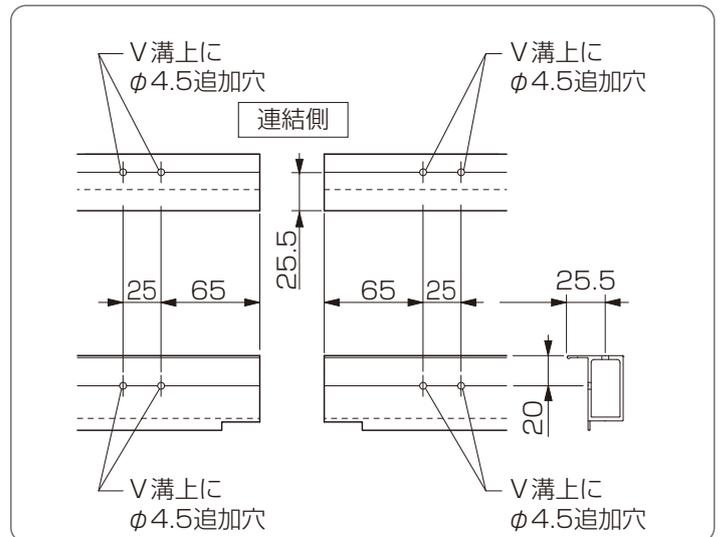


●母屋【下面から見る】

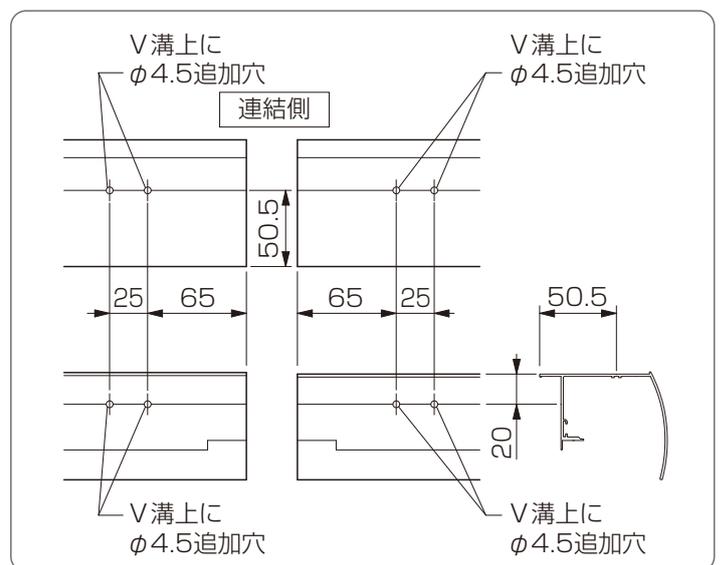
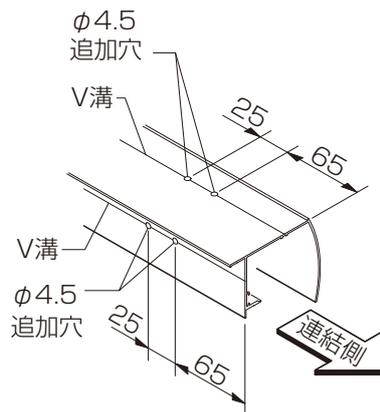


補 足

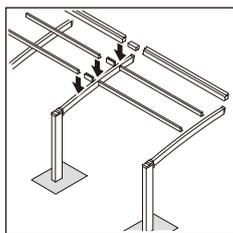
側面のフィン側に穴をあけてください。



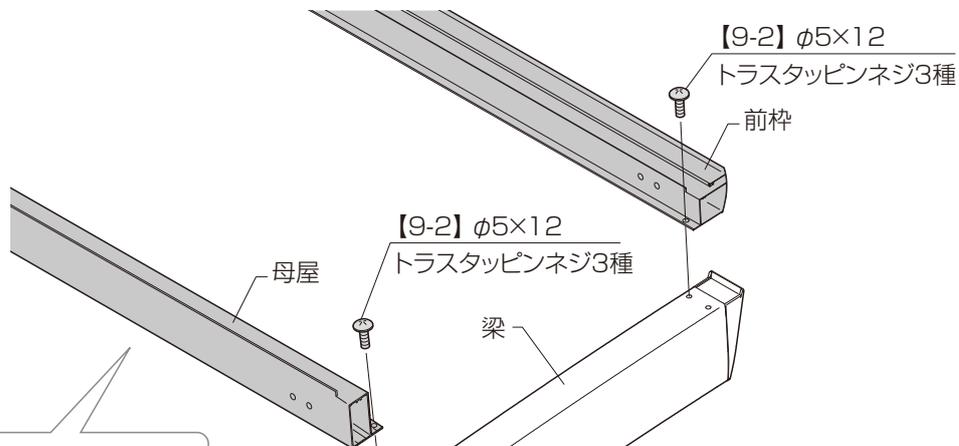
●後枠【下面から見る】



2 前枠・母屋の連結

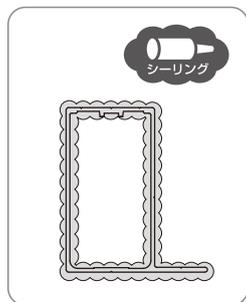
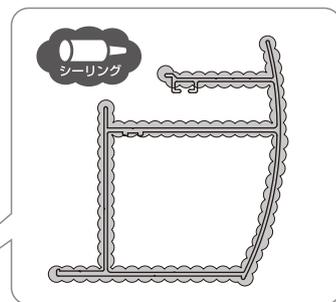


- ①片側の前枠・母屋を梁に【9-2】で取付けてください。
- ②取付けた前枠・母屋の連結部にシーリングしてください。
- ③前枠スリーブ・母屋スリーブを差込んでください。
- ④もう片側の前枠・母屋をスリーブに差込み、梁に【9-2】で取付けてください。
- ⑤前枠スリーブ・母屋スリーブを【9-4】で固定してください。
- ⑥はみ出たシーリング材を処理してください。



お願い

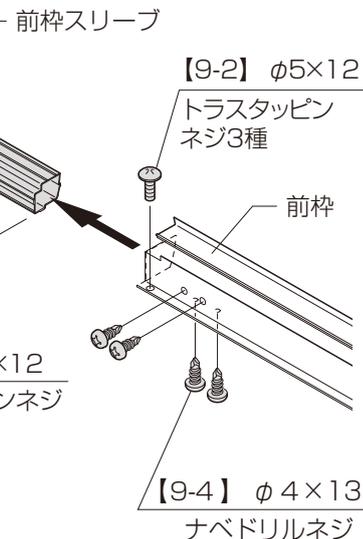
母屋のフィン
前枠側に
向けてください。



【9-4】φ4×13
ナベドリルネジ

【9-4】φ4×13
ナベドリルネジ

【9-4】φ4×13
ナベドリルネジ



補足

各スリーブの長さは200mmです。
スリーブの中央に印をつけておく
とスリーブを各部材へ差込んだ際
に位置がわかりやすくなります。

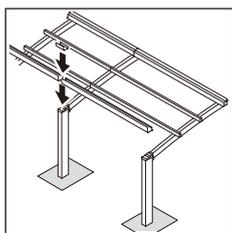
補足

母屋スリーブには上下があります。
母屋スリーブのフィンを上にして
取付けてください。

お願い

取付時に付着した切粉等は、取り除
いてください。

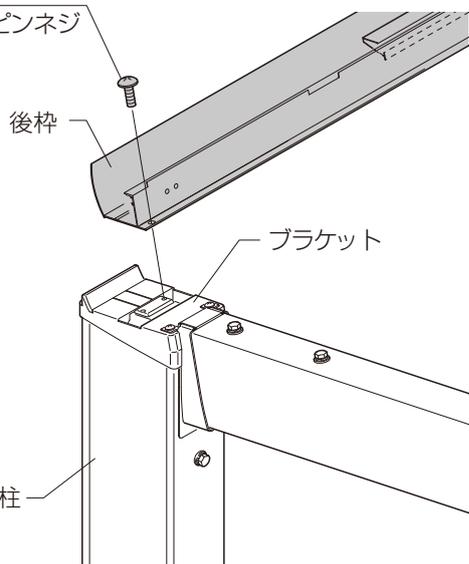
3 後枠の連結



- ①片側の後枠を柱に【9-2】で取付けてください。
- ②取付けた後枠の連結部にシーリングしてください。
- ③もう片側の後枠を柱に【9-2】で取付けてください。
- ④後枠スリーブの両側小口および母屋側のふちにシーリングしてください。
- ⑤後枠スリーブを取付けるネジ【9-4】にシーリングをしてから、固定してください。
- ⑥後枠スリーブの背面側のふちにシーリングしてください。
- ⑦はみ出たシーリング材を処理してください。

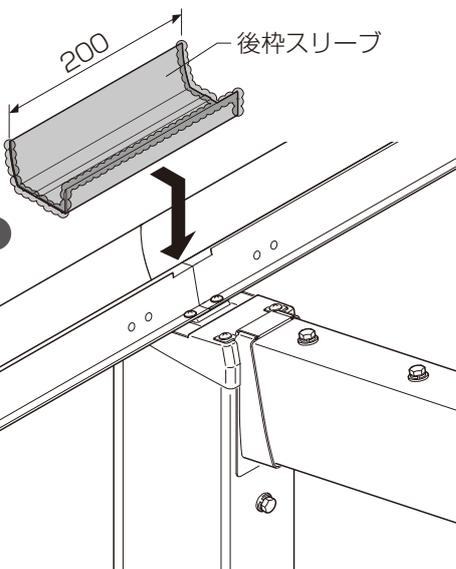
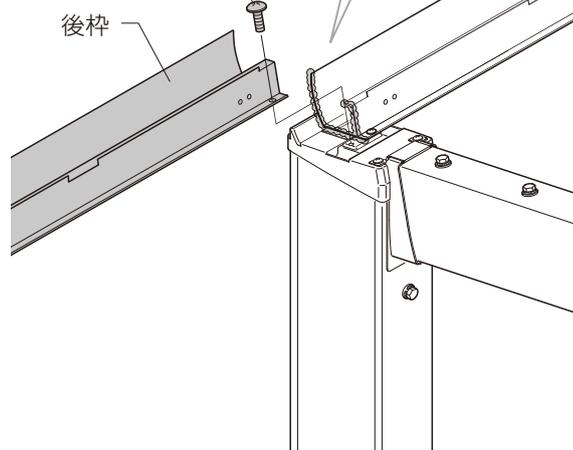
【9-2】 φ5×12

トラスタッピンネジ
3種



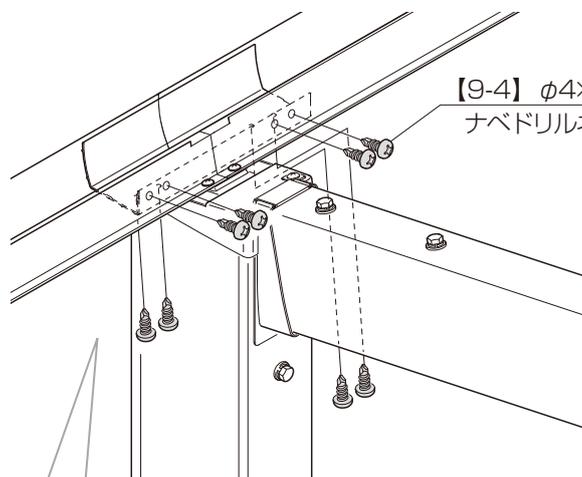
【9-2】 φ5×12

トラスタッピンネジ
3種



【9-4】 φ4×13

ナベドリルネジ



補足

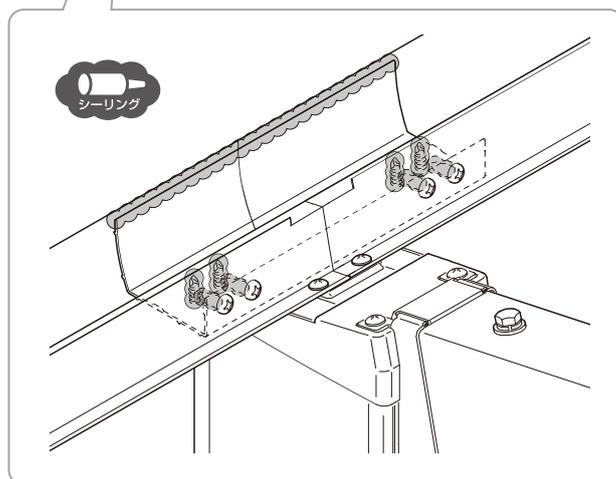
後枠スリーブを取付ける際は、下面を先に取付けてください。

補足

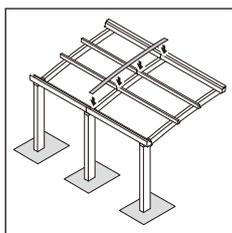
後枠スリーブの長さは200mmです。
スリーブの中央に印をつけておくとスリーブを後枠へ差込んだ際に位置がわかりやすくなります。

お願い

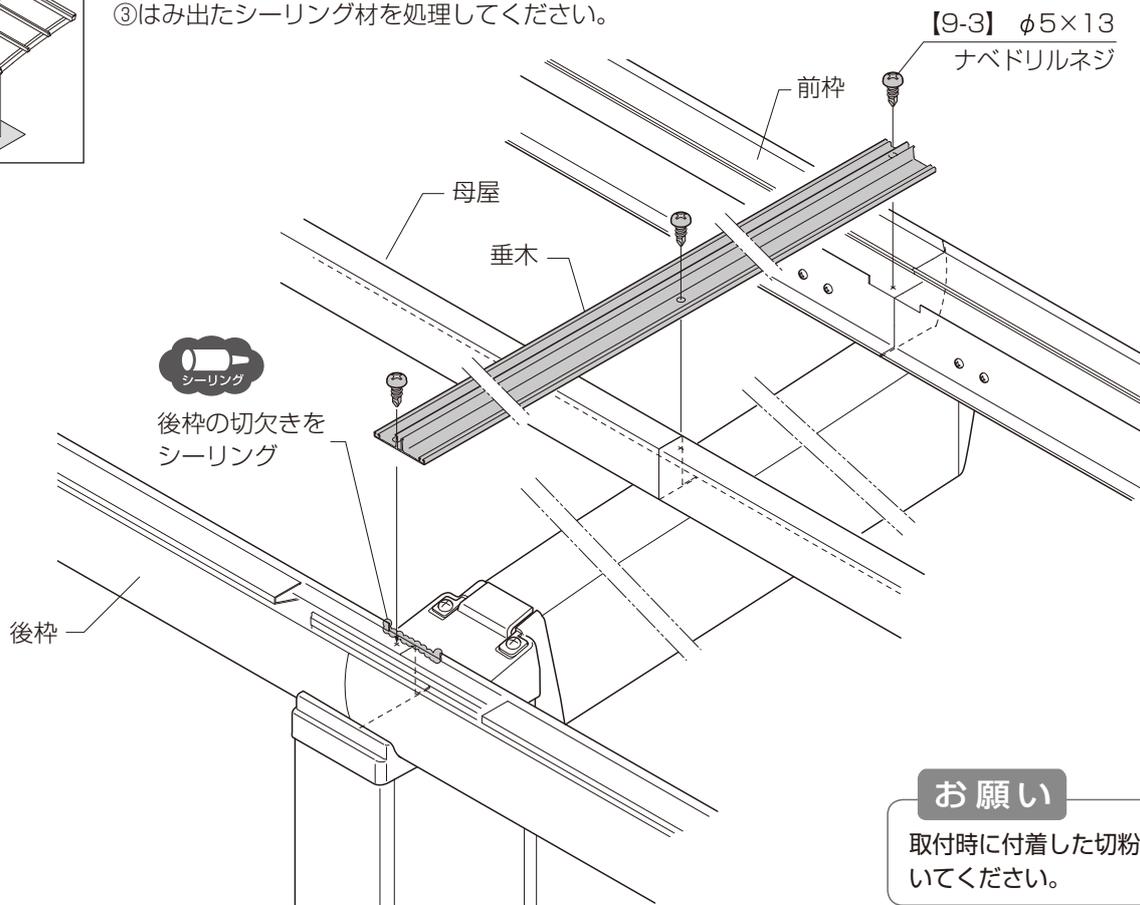
取付時に付着した切粉等は、取り除いてください。



4 垂木の取付け（連結部）



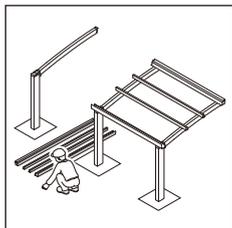
- ①後枠の切欠き部にシーリングしてください。
- ②連結部に垂木を【9-3】で取付けてください。
- ③はみ出たシーリング材を処理してください。



お願い

取付時に付着した切粉等は、取り除いてください。

6 部材の加工



【現場切り詰め】したの場合の作業です。

- ①必要な長さを切り詰めしてください。
- ②部材にφ5.5の追加穴をあけてください。
- ③フィンに切り欠きを行なってください。

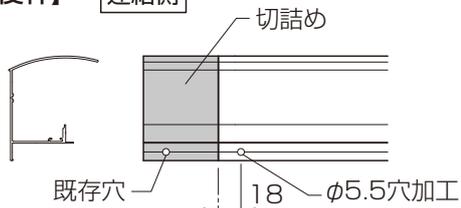
お願い

【単独28型】の場合は、切り詰めできません。

お願い

切り詰めは連結部で行なってください。

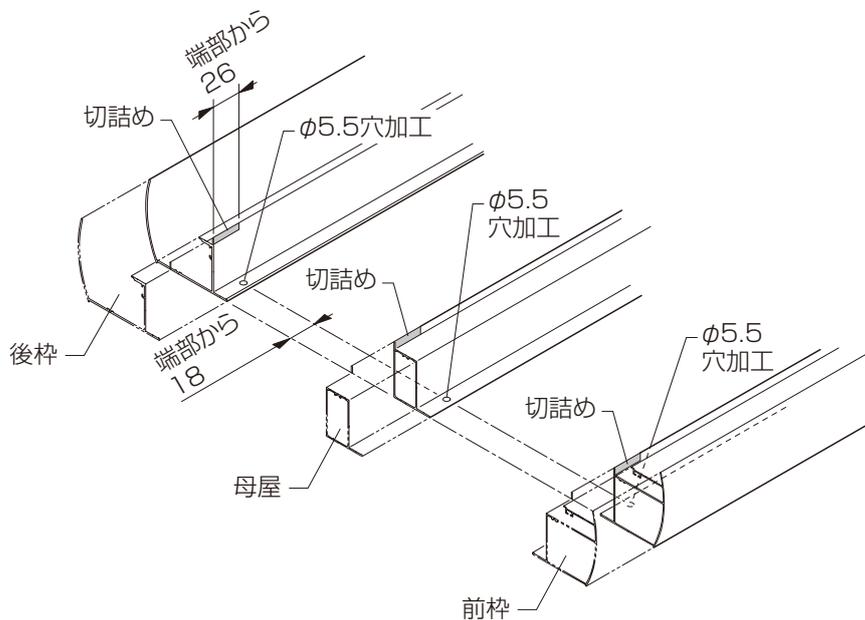
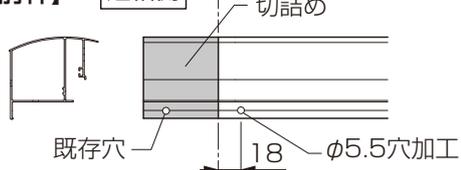
【後枠】 連結側



【母屋】 連結側

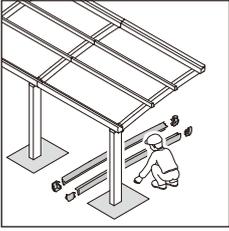


【前枠】 連結側



7 側枠の取付け

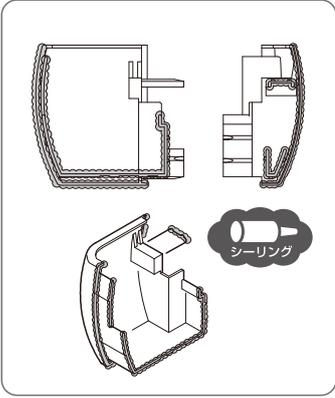
1 コーナーキャップの取付け



- ①コーナーキャップにシーリングしてください。
- ②コーナーキャップを側枠にはめ込んでください。

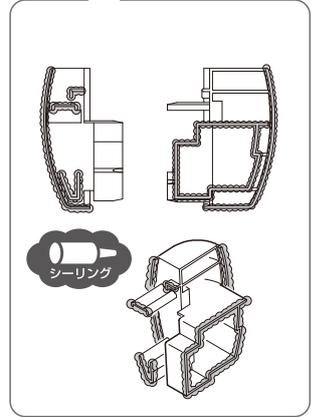
補足

図はR側を示しています。

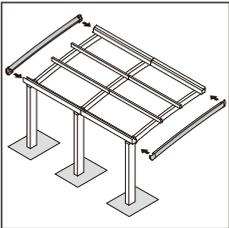


後枠コーナー
キャップR,L

前枠コーナー
キャップR,L



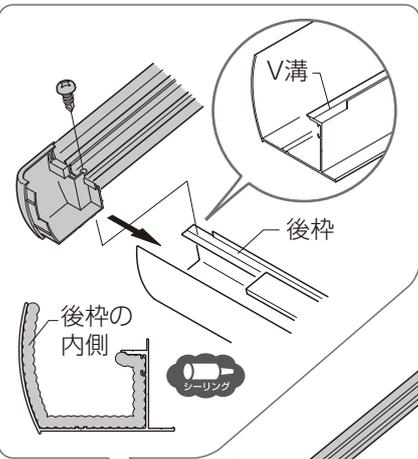
2 側枠の取付け



- ①後枠の内側にシーリングしてください。
- ②コーナーキャップを前枠・後枠に差込んでください。
- ③側枠を後枠・母屋・前枠のV溝に【9-3】で取付けてください。

補足

前枠・後枠・母屋には、側枠取付けの加工穴はあいていません。



【9-3】φ5×13
ナベドリルネジ

側枠

前枠

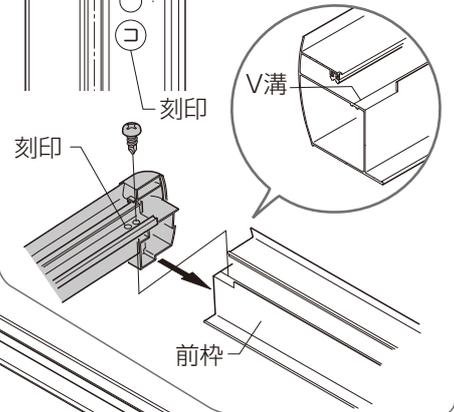
母屋

後枠

お願い

【側枠】

前枠 側枠の刻印側を
取付穴 前枠に取付けて
ください。



補足

前枠と側枠に、屋根押え用ビードのズレ防止用の養生テープが貼付いている場合は、養生テープをはがしてください。

お願い

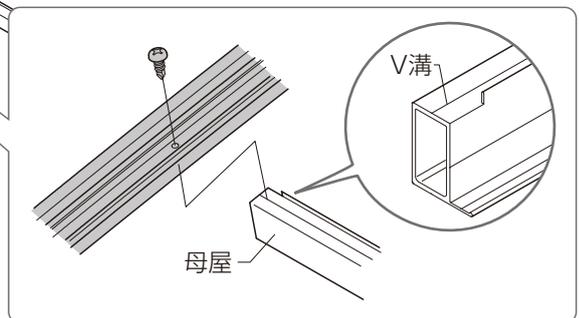
ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



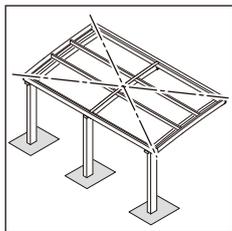
ネジの浮き

ネジの傾き

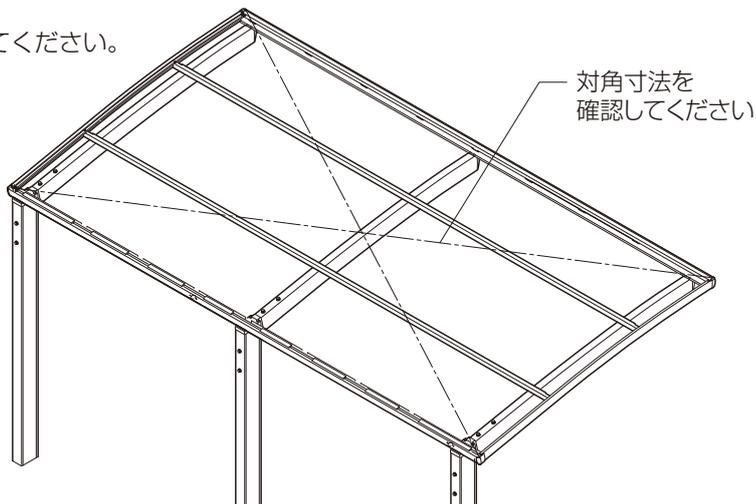
ネジの浮き・傾きなし



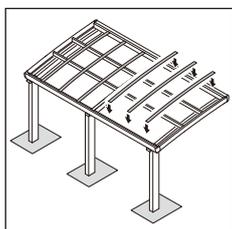
8 対角寸法の確認



①屋根枠まわりの対角寸法をそろえてください。



9 垂木の取付け



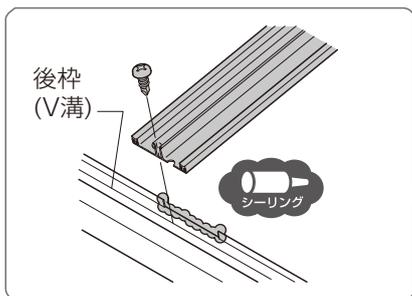
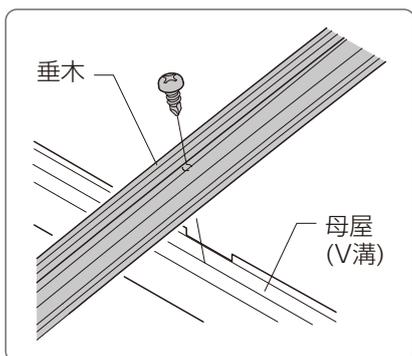
- ①後枠の切欠き部にシーリングしてください。
- ②垂木の刻印側を前枠のV溝に【9-3】で取付けてください。
- ③垂木を後枠・母屋のV溝に【9-3】で取付けてください。

補足

前枠・後枠・母屋には、垂木取付け用の加工穴はあいていません。

補足

前枠に、屋根押え用ビードのズレ防止用の養生テープが貼付いている場合は、養生テープをはがしてください。



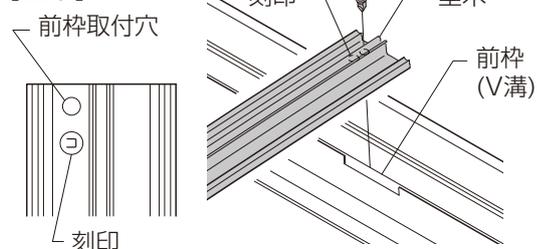
お願い

取付時に付着した切粉等は、取り除いてください。

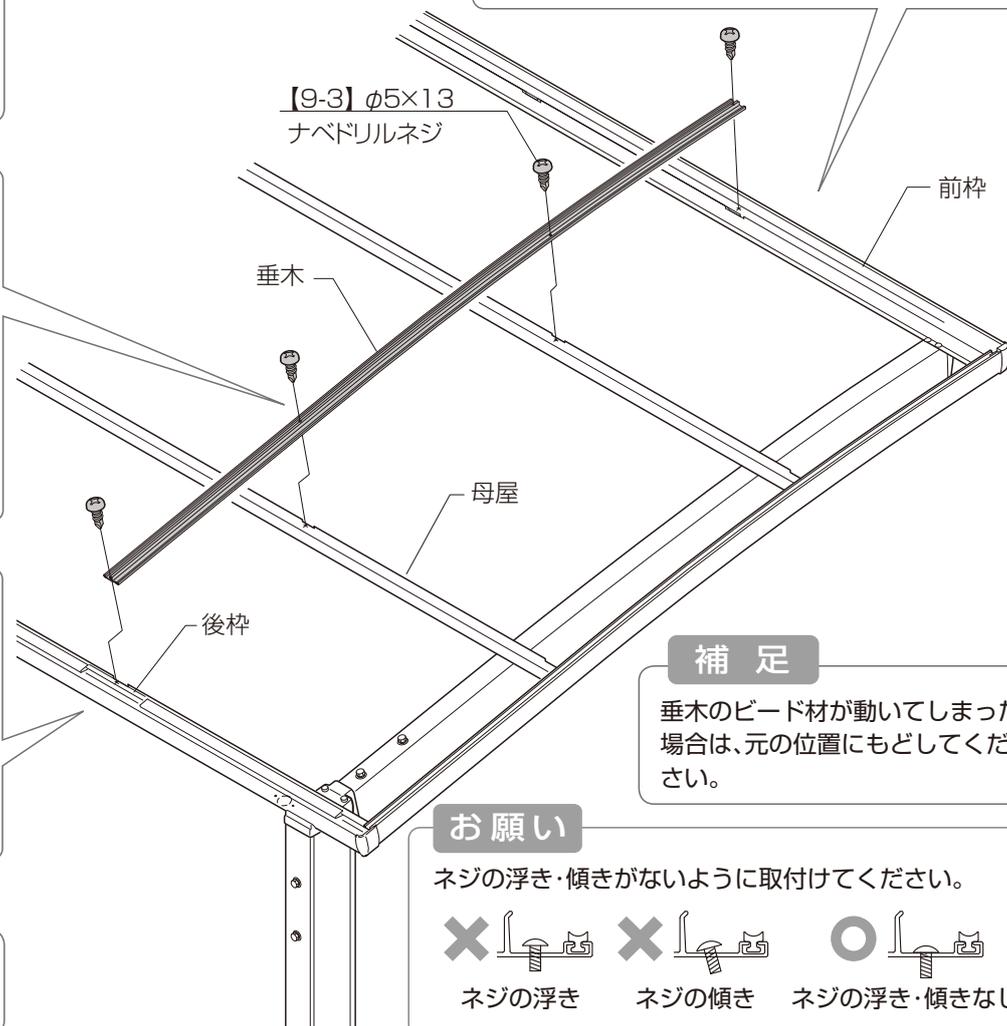
お願い

垂木の刻印側を前枠に取付けてください。

【垂木】



【9-3】φ5×13
ナベドリルネジ



補足

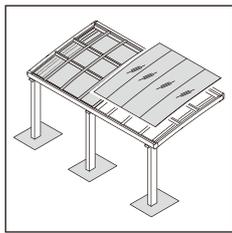
垂木のビード材が動いてしまった場合は、元の位置にもどしてください。

お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



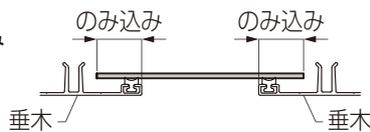
10 屋根材の取付け



①屋根材を前枠のカバー部に差し込み、後枠のパネル受けに差込んでください。

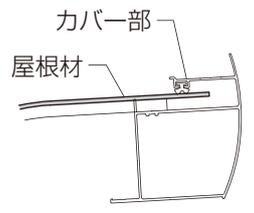
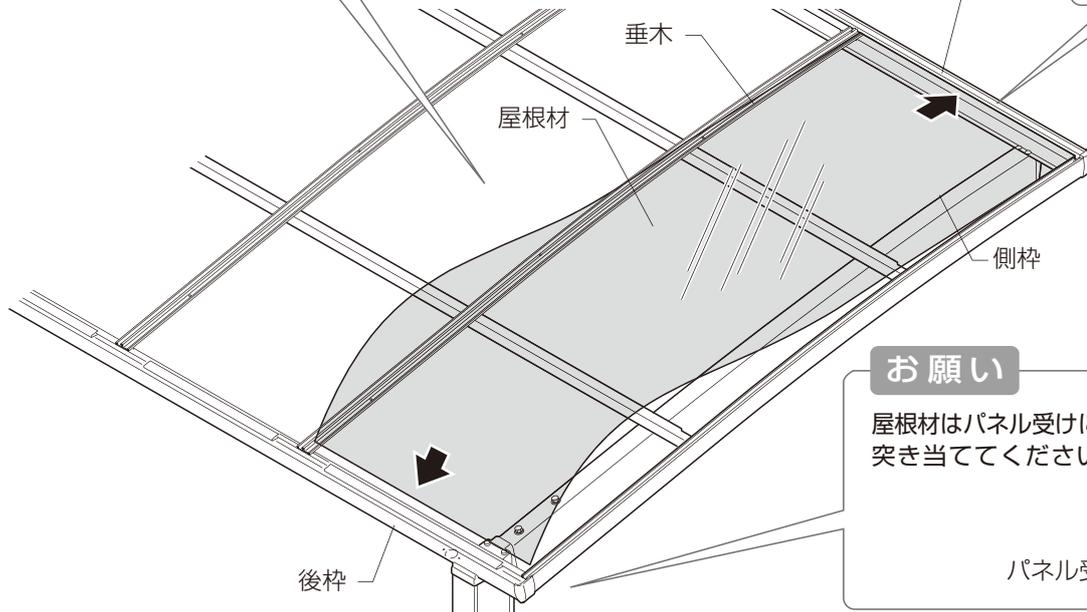
お願い

垂木の屋根材のみ込み寸法は左右均等にしてください。



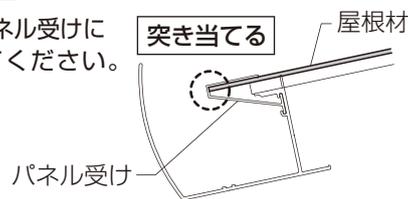
お願い

屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

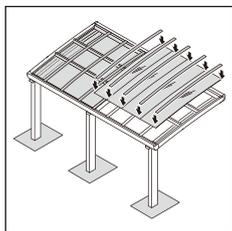


お願い

屋根材はパネル受けに突き当ててください。



11 側枠カバー・垂木カバーの取付け



①垂木カバー・側枠カバーを、垂木・側枠に【9-2】で取付けてください。
②垂木カバー・側枠カバーにシーリングしてください。

お願い

垂木と垂木カバーがかみ合っていることを確認してください。



お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。

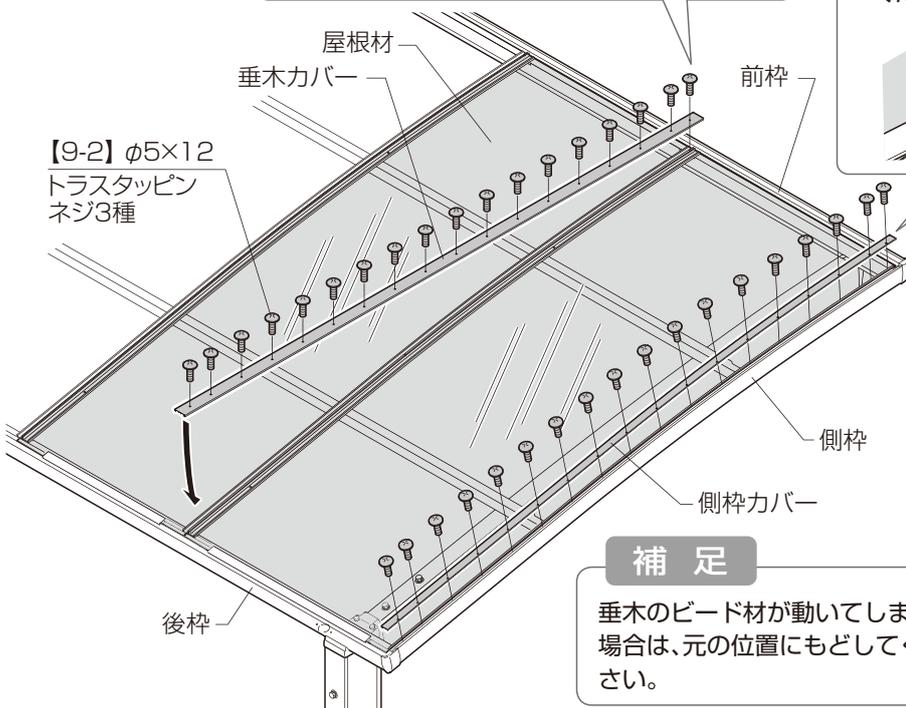
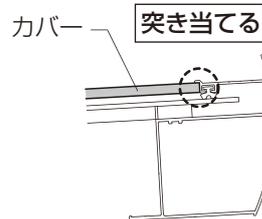
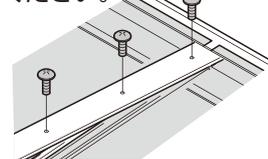


お願い

【取付ける際は】

・前枠側から取付けてください。

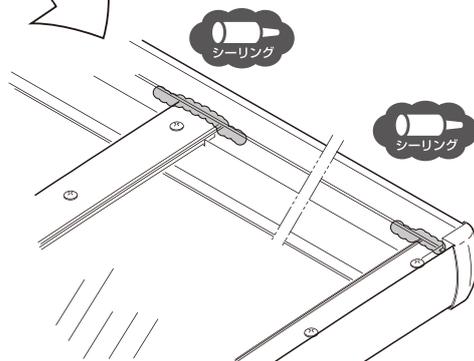
・前枠に突き当てて取り付けてください。



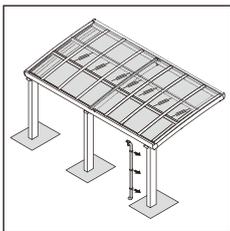
【9-2】φ5×12
トラスタッピン
ネジ3種

補足

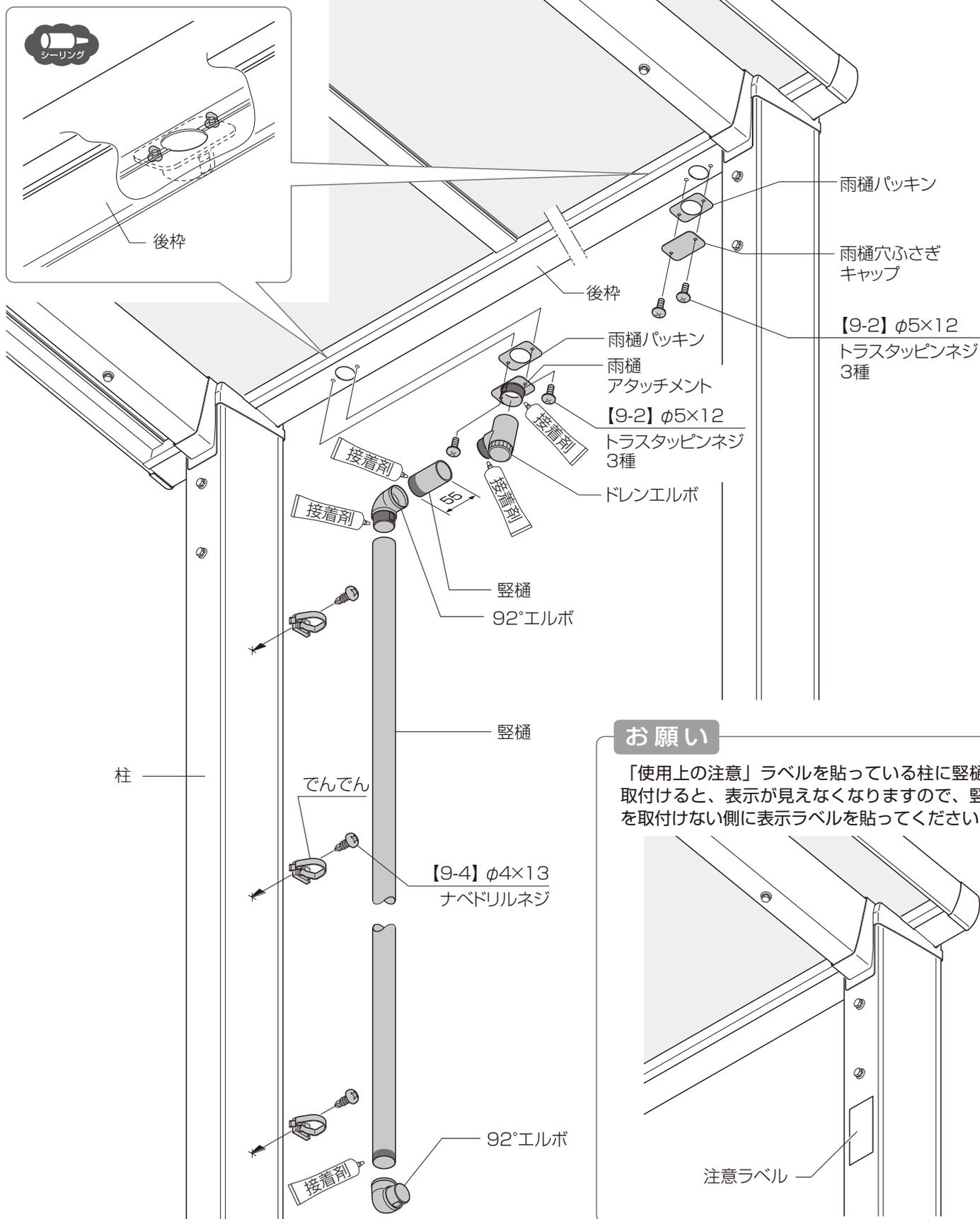
垂木のビード材が動いてしまった場合は、元の位置にもどしてください。



12 縦樋の取付け

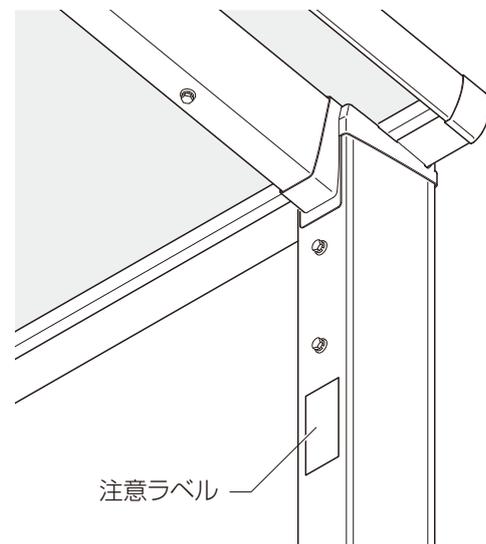


- ① 縦樋を切断してください。
- ② 後枠片方の水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋アタッチメント」を【9-2】で取付けてください。
- ③ 柱に「でんでん」を【9-4】で取付けてください。
- ④ 「ドレンエルボ」、「縦樋」、「92°エルボ」を接着剤で取付けてください。
- ⑤ 使用しない水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋穴ふさぎキャップ」を【9-2】で取付けてください。
- ⑥ 後枠内のネジ部にシーリングしてください。



お願い

「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなりますので、縦樋を取付けない側に表示ラベルを貼ってください。



Y合掌タイプの施工

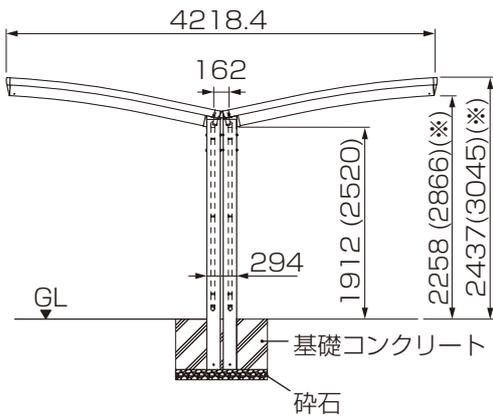


【Y合掌】の場合の作業です。

姿図

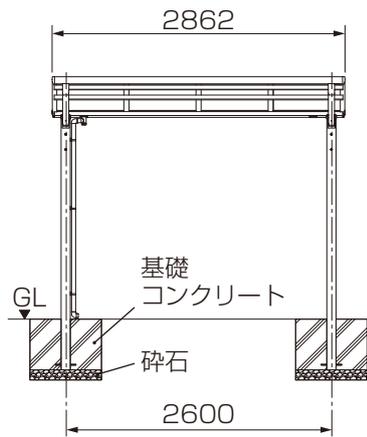
お願い

- ・柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。
- ・構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

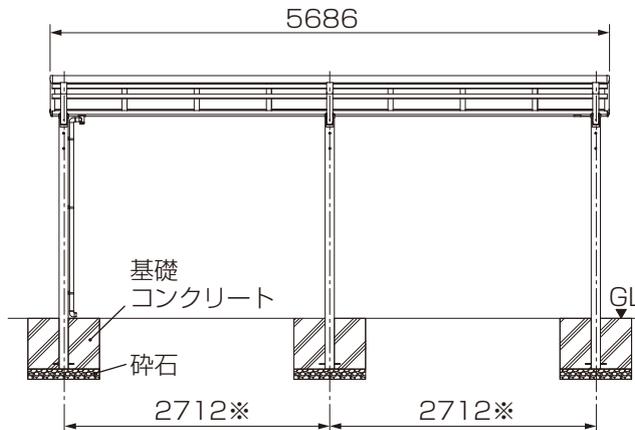


(※) は参考寸法です。

【単独28型】

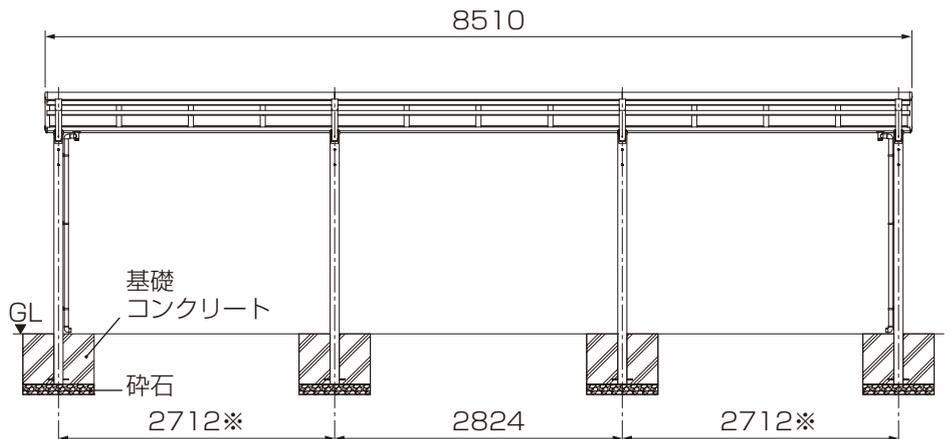


【基本57型】



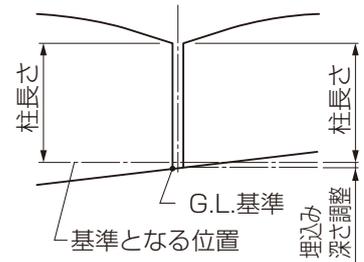
※屋根を切り詰めた場合は、柱ピッチが変わります。

【連棟57+(28×1)型】



お願い

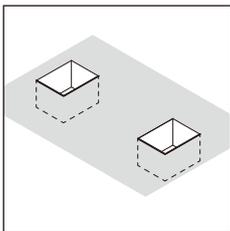
傾斜地で施工する場合、低い側の柱の埋込みシールがG.L.基準になります。柱が垂直になるように施工してください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。



お願い

- ・【単独28型】は、屋根の切り詰めはできません。
- ・「屋根の切り詰め」の加工は連結部で行ないます。P.16を参照してください。

1 基礎の墨出し

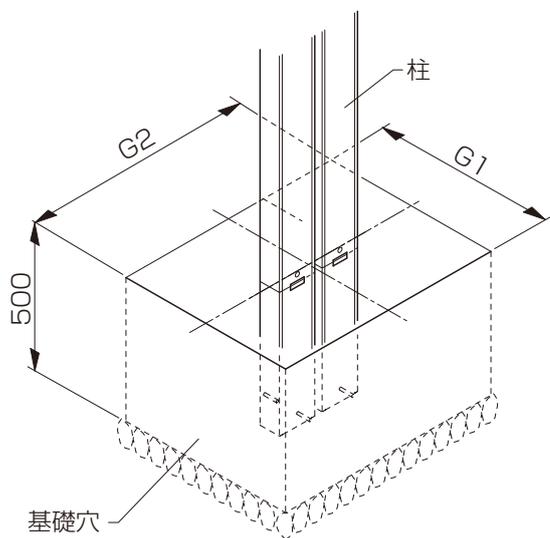


①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

お願い

【単独28型】は、屋根の切り詰めはできません。

※屋根を切り詰めた場合は、柱ピッチが変わります。

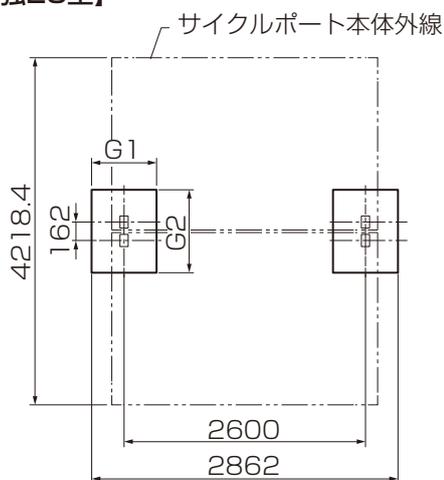


補足

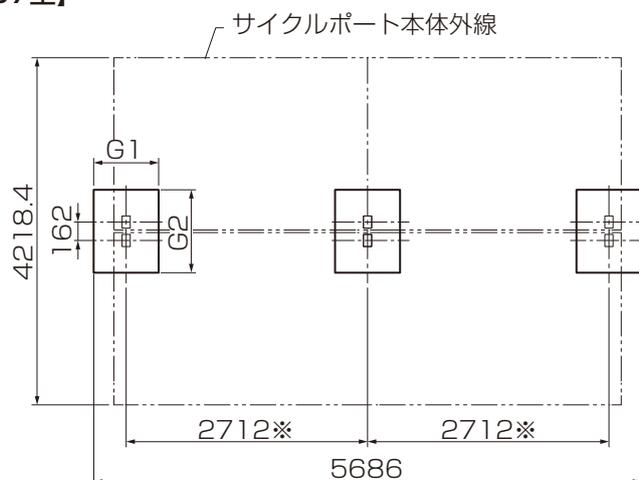
基礎は基準風速34m/s、地表面粗度区分Ⅲ、長期地耐力度 50 kN/m²の時の参考寸法です。

		G1	G2
標準柱	単独 28 型	700	900
	基本 57 型・連棟	800	1400
ロング柱	単独 28 型	700	1000
	基本 57 型・連棟	800	1500

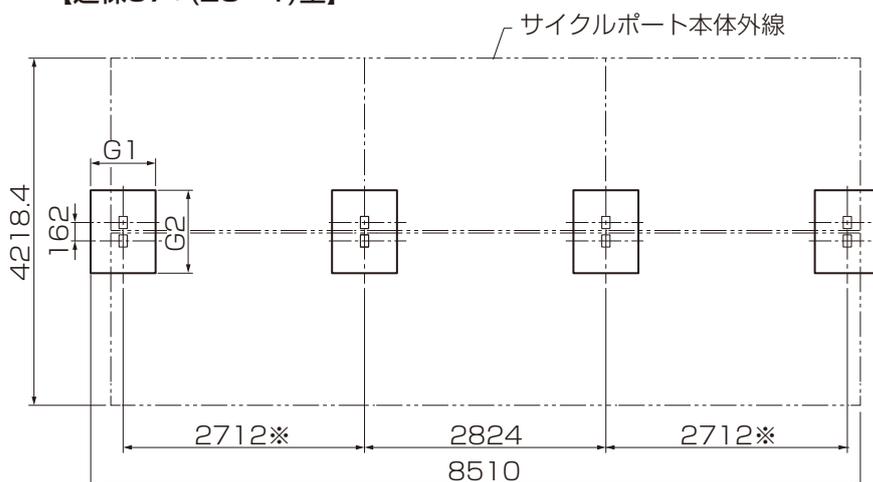
【単独28型】



【基本57型】

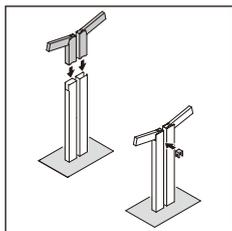


【連棟57+(28×1)型】

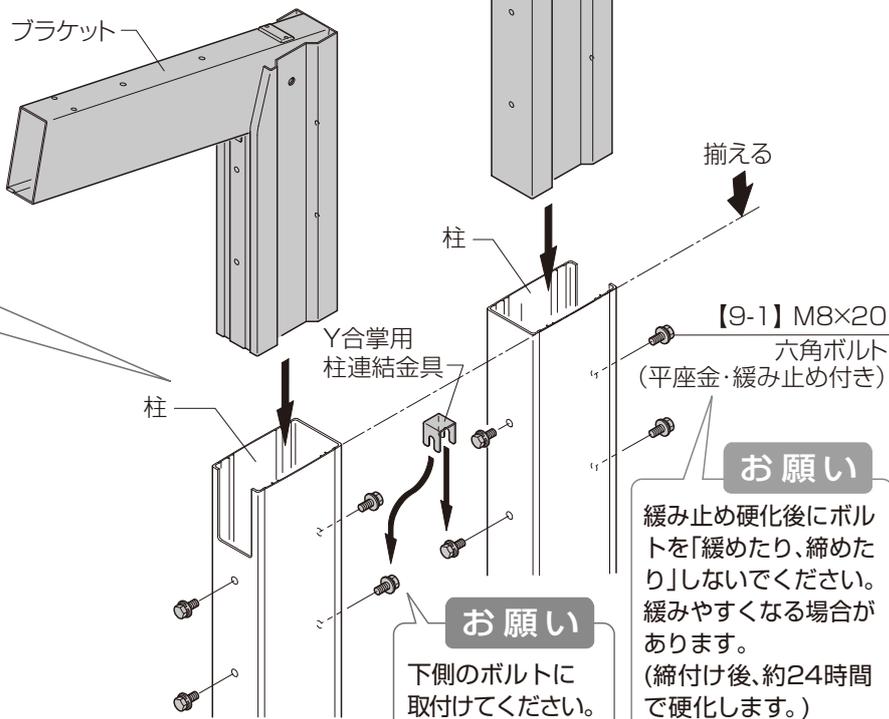


2 合掌部の取付け

1 柱連結金具の取付け



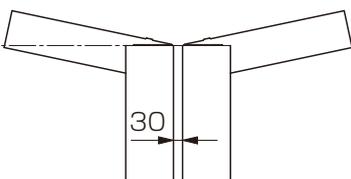
- ① ブラケットを柱に差込み、【9-1】で仮止めしてください。
- ② Y合掌用柱連結金具を、柱と【9-1】のすき間に差込み、本固定してください。



お願い

- ・ 柱と柱のすき間は30mmにしてください。
- ・ 柱の上面は同一高さにしてください。

▼揃える



補足

合掌部以外の取付けは、「基本タイプの施工」を参照してください。

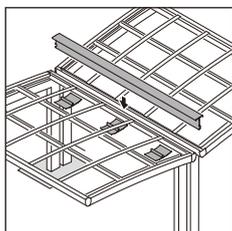
お願い

緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。(締め付け後、約24時間で硬化します。)

お願い

下側のボルトに取付けてください。

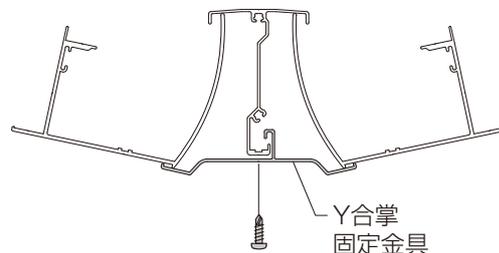
2 Y合掌棟木の取付け



補足

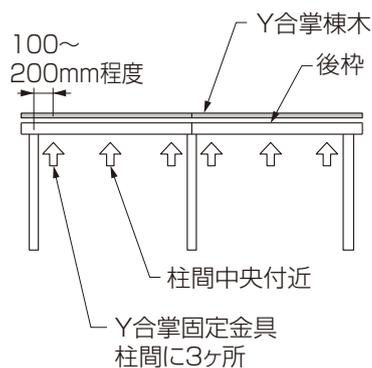
「基本タイプの施工：⑨垂木の取付け」の後に本手順を行ってください。

- ① Y合掌棟木を後桷と後桷の間に差し込んでください。
- ② Y合掌固定金具を【12-2】で取付けてください。

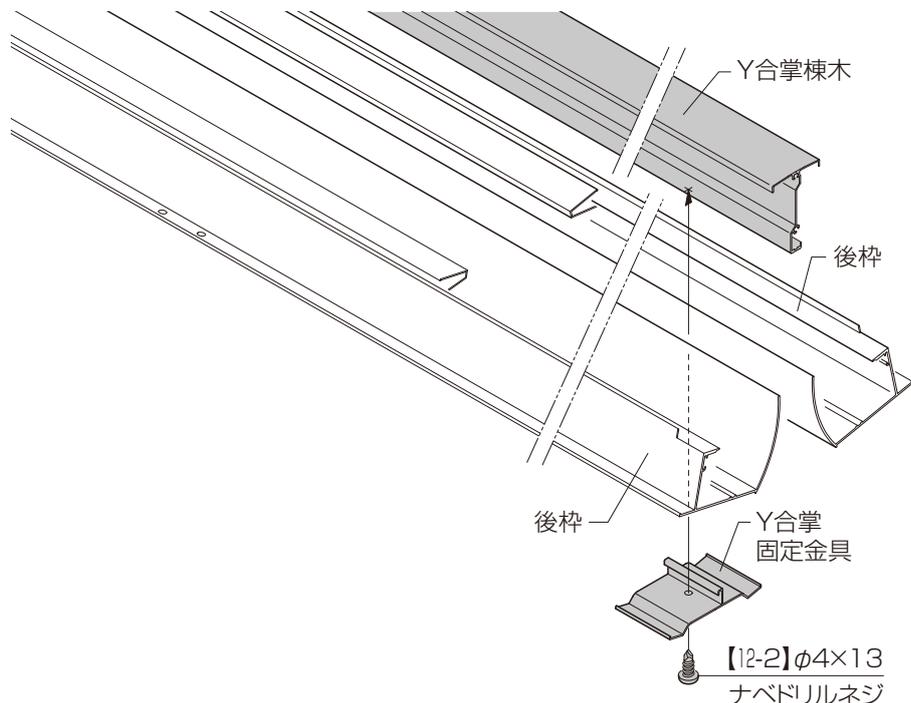


お願い

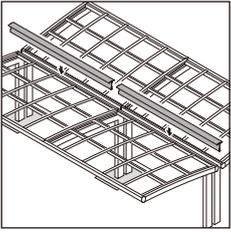
Y合掌固定金具は図の位置に取付けてください。



Y合掌固定金具取付位置



□ 連結する場合

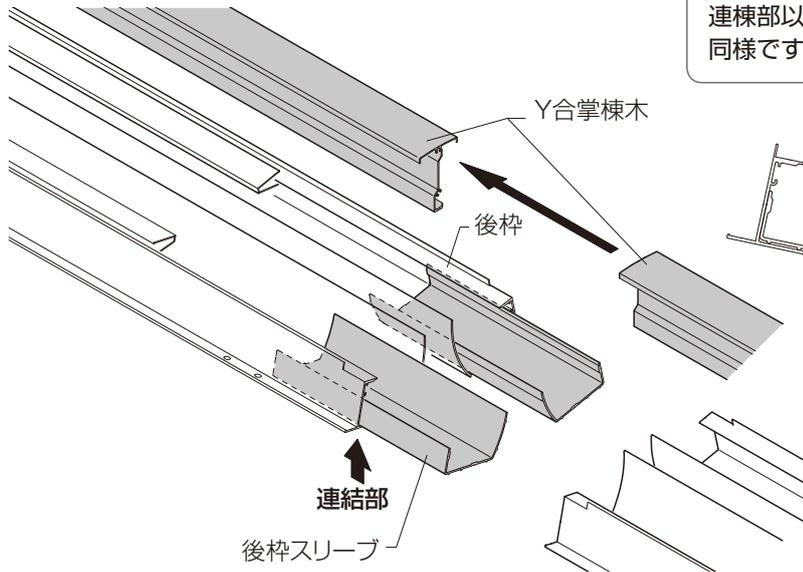


【基本 57 型】・【連棟】の場合の作業です。
※【単独 28 型】の場合、この作業は不要です。



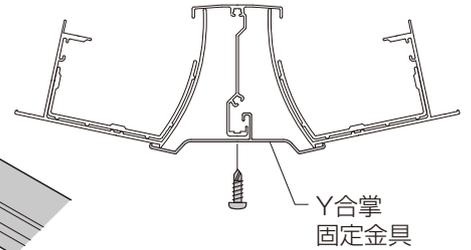
P.13~15も事前に確認してください。

①後枠スリーブで後枠同士を連結してください。

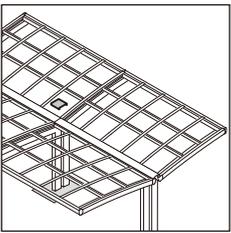


補 足

連棟部以外の取付けは、「単独施工の場合」と同様です。

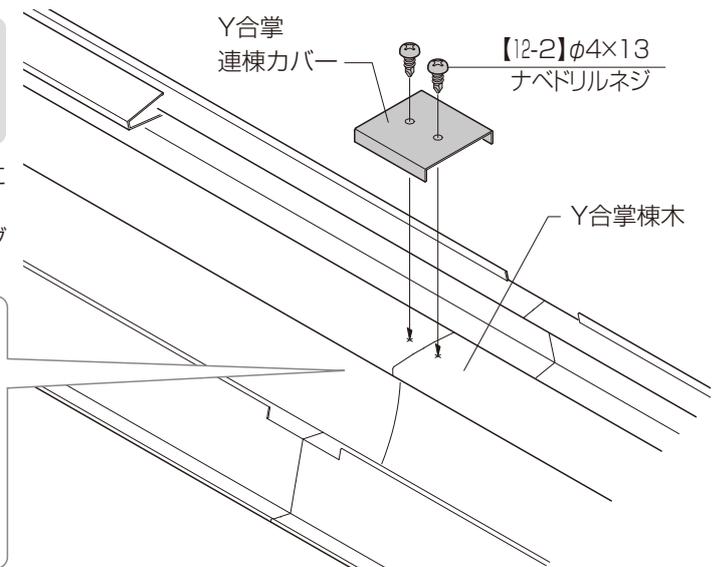
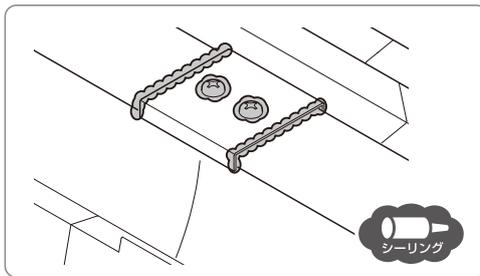


3 Y 合掌連棟カバーの取付け

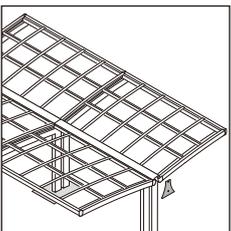


【基本 57 型】・【連棟】の場合の作業です。
※【単独 28 型】の場合、この作業は不要です。

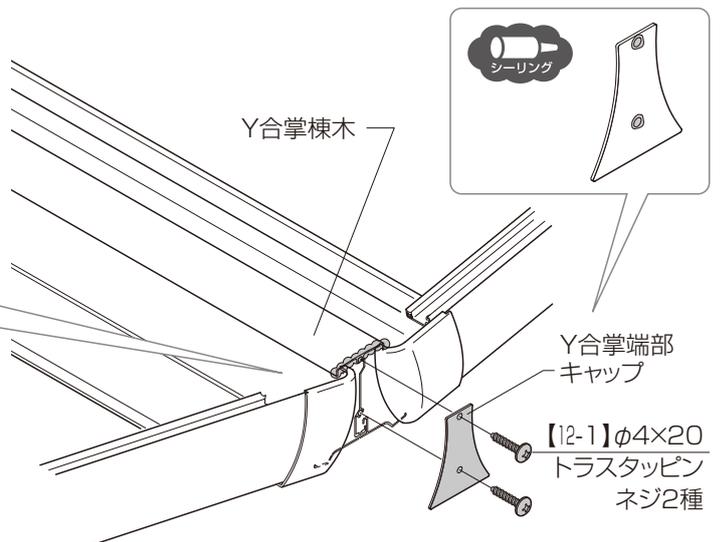
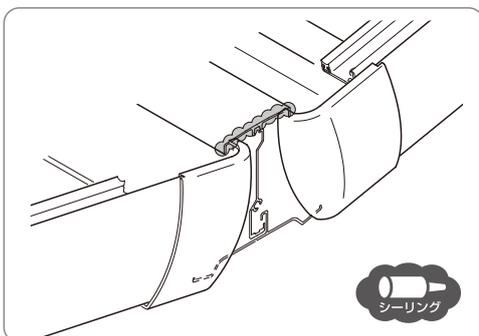
- ①Y合掌連棟カバーをY合掌棟木の連結部に【I2-2】で取付けてください。
- ②Y合掌連棟カバーおよびネジ頭にシーリングしてください。



4 Y 合掌端部キャップの取付け



- ①Y合掌端部キャップおよびY合掌棟木にシーリングしてください。
- ②Y合掌端部キャップを【I2-1】で取付けてください。



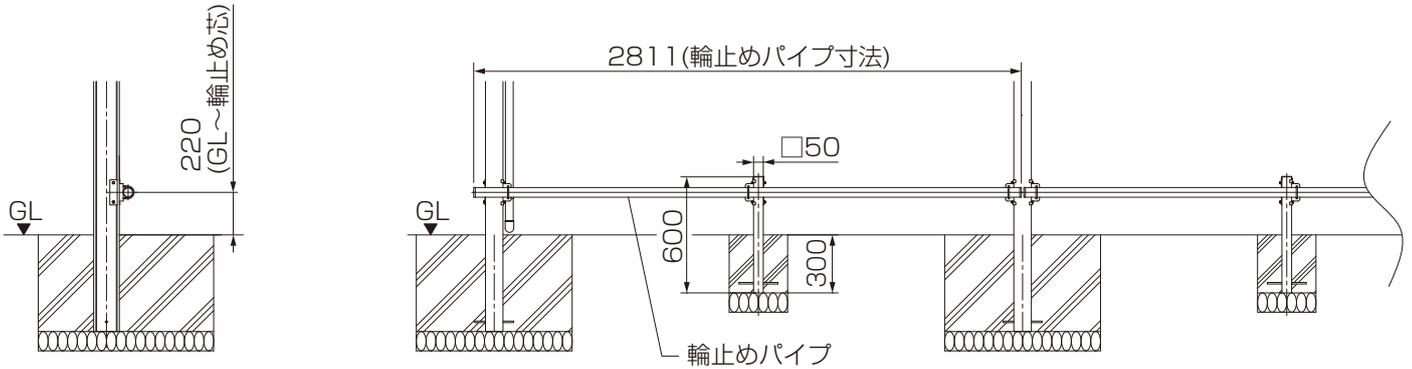
輪止めの施工

オプションの【輪止め】を施工する場合の作業です。

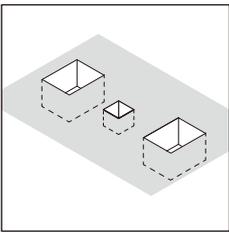
■ 姿図

補 足

輪止め部以外の寸法は、「基本タイプの施工」を参照してください。



1 基礎の墨出し



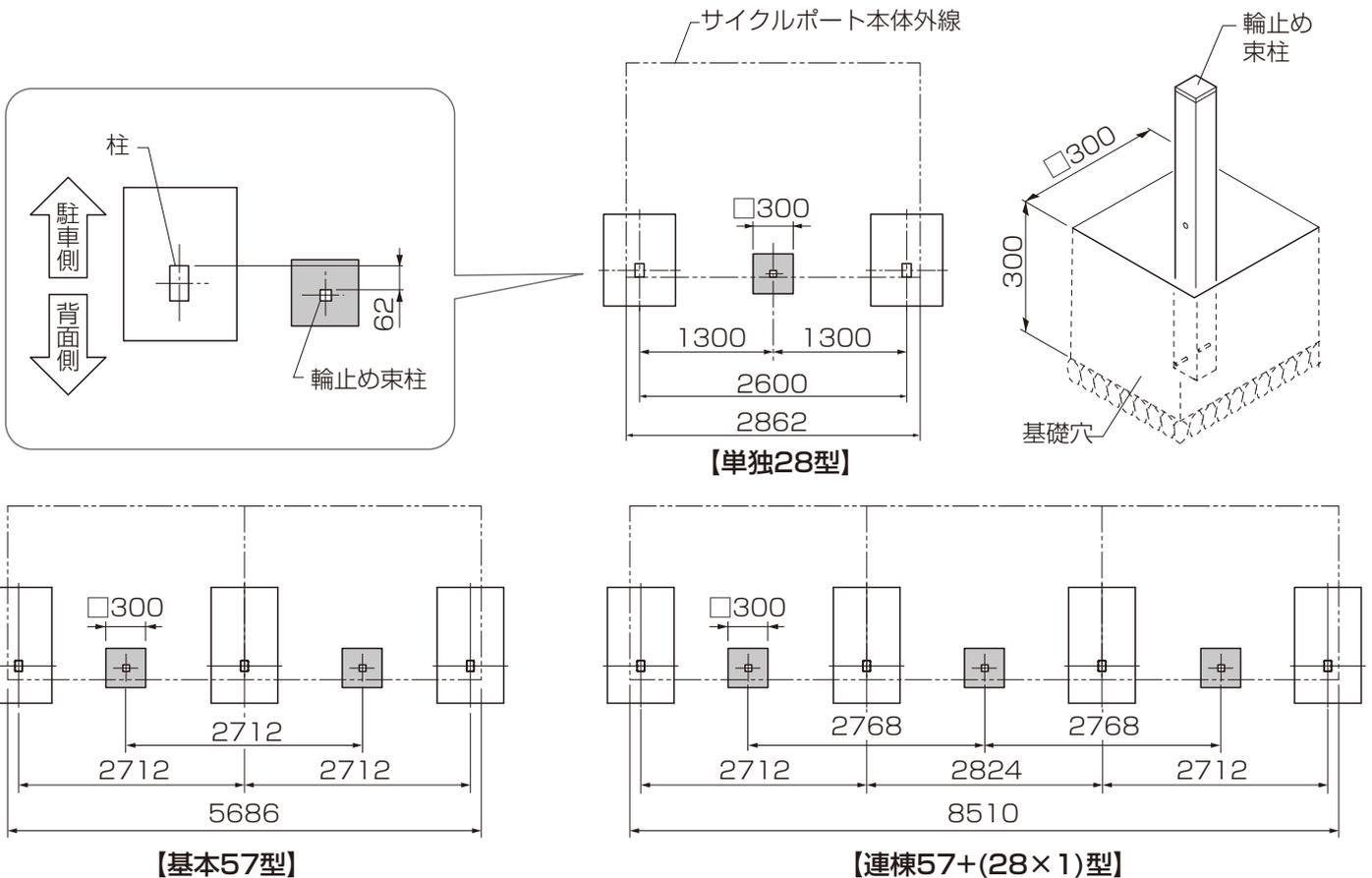
①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

補 足

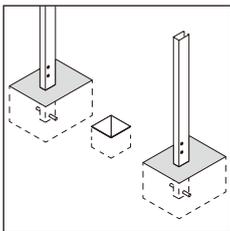
輪止め束柱以外の基礎寸法は、P.9を参照してください。

補 足

束柱の移動は±100mm以内です。



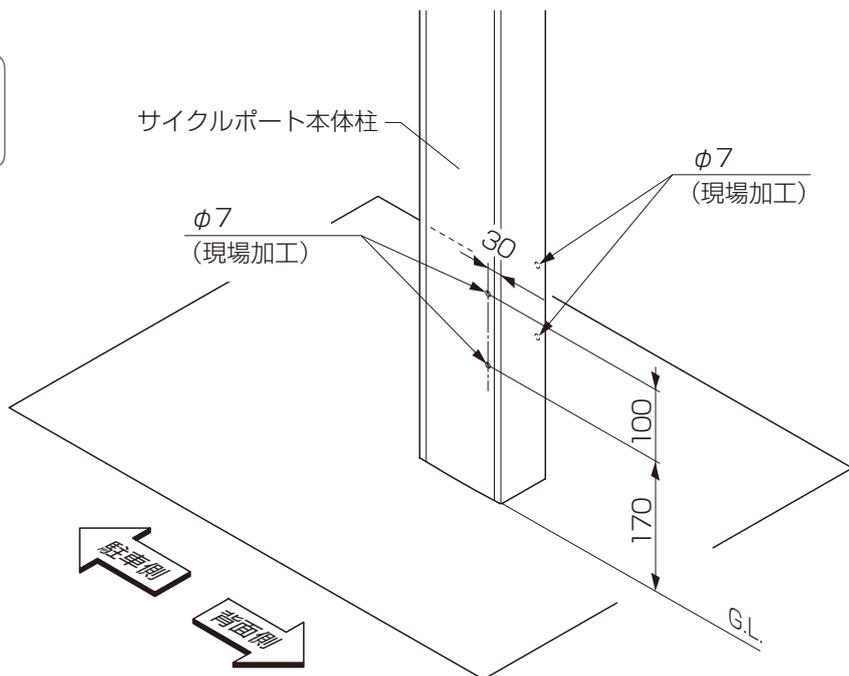
2 本体柱の加工



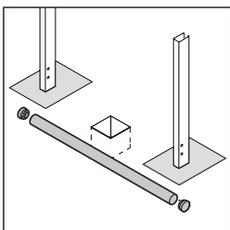
①サイクルポート本体柱へφ7の下穴(貫通穴)をあけてください。

補足

束柱の取付穴は加工済みで出荷されます。



3 輪止めパイプキャップの組立て



①輪止めパイプに輪止めパイプキャップを接着剤で取付けてください。

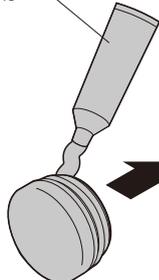
お願い

キャップの破損を防ぐために、プラスチックハンマー等を使用してください。

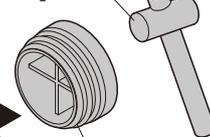
お願い

キャップの脱落・紛失防止のため、必ず接着剤を使用してください。

接着剤



プラスチックハンマー等



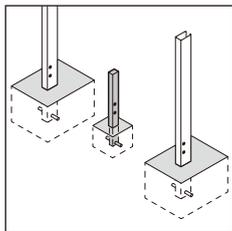
輪止めパイプキャップ

輪止めパイプ

補足

市販の接着剤を使用する場合は、塩ビ用接着剤または瞬間接着剤もしくはエポキシ系接着剤を使用してください。

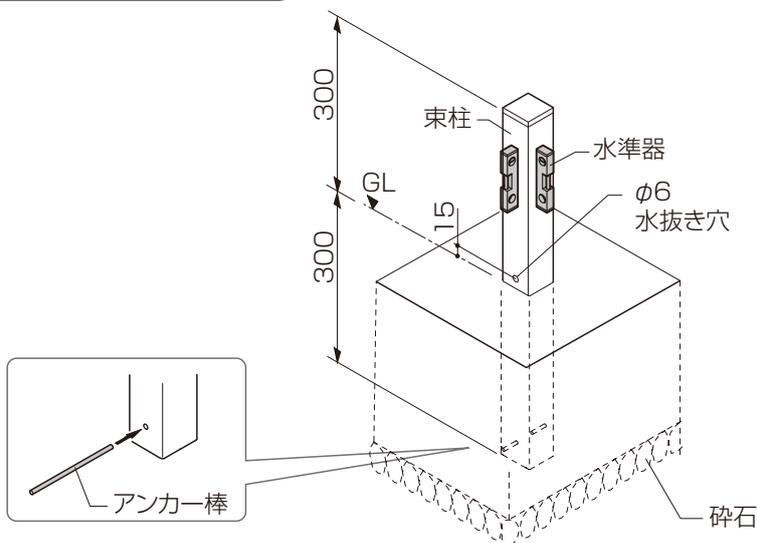
4 輪止め束柱の設置



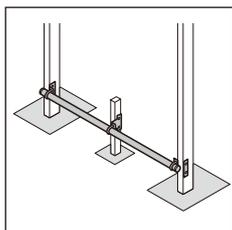
①アンカー棒を輪止め束柱に差し込んでください。

お願い

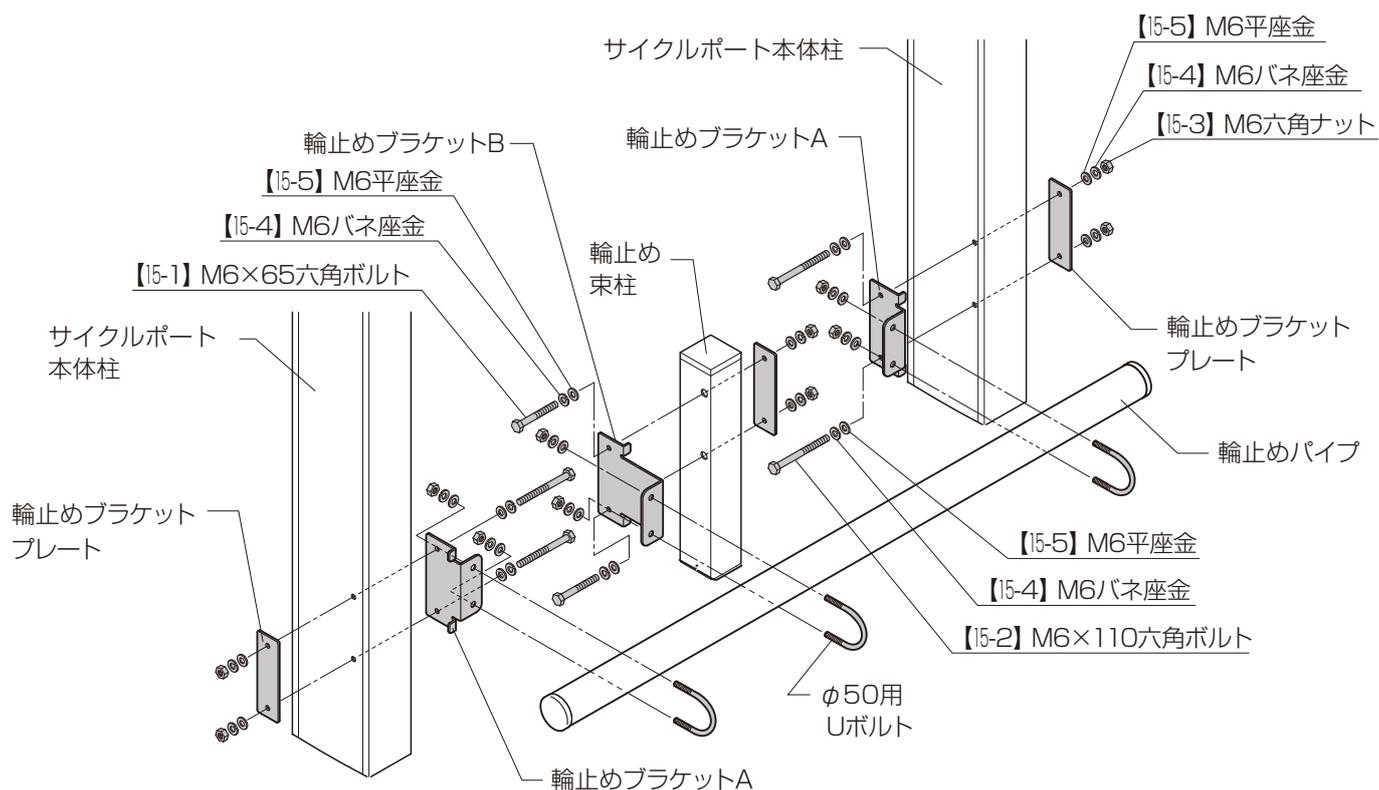
柱の垂直を確認してください。



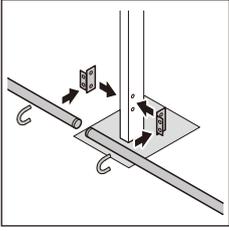
5 輪止めパイプの取付け



- ①サイクルポート本体柱に、輪止め Bracket A と輪止め Bracket プレート を【15-2】～【15-5】で取付けてください。
- ②輪止め束柱に、輪止め Bracket B と輪止め Bracket プレート を【15-1】、【15-3】～【15-5】で取付けてください。
- ③輪止め Bracket A・B に輪止めパイプを、φ50用 U ボルト と【15-3】～【15-5】で固定してください。



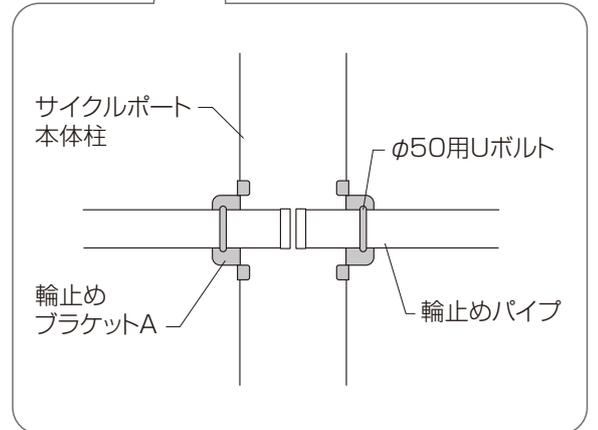
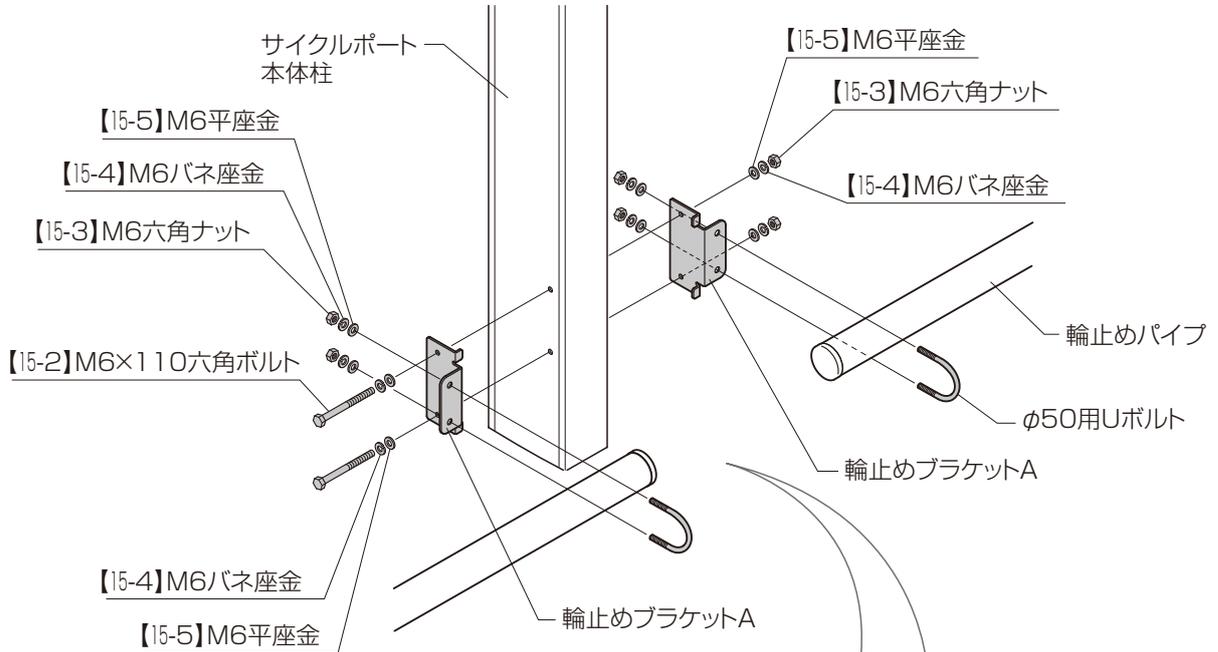
□ 連結する場合



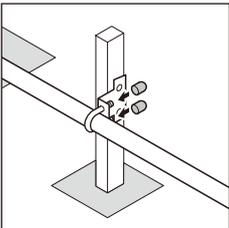
【基本 57 型】・【連棟】の場合の作業です。

※【単独 28 型】の場合、この作業は不要です。

① 本体柱に、輪止めブラケットAおよび輪止めパイプを固定してください。



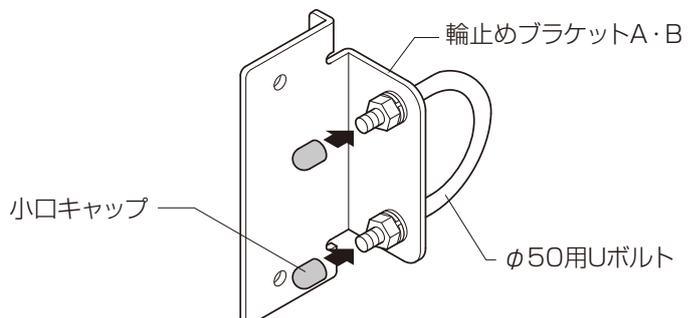
6 小口キャップの取付け



① φ50用Uボルトの先端に、小口キャップを取付けてください。

▲ 注意

使用者がケガをするおそれがありますので、小口キャップは必ず取付けてください。



スマート雨樋の施工 OP

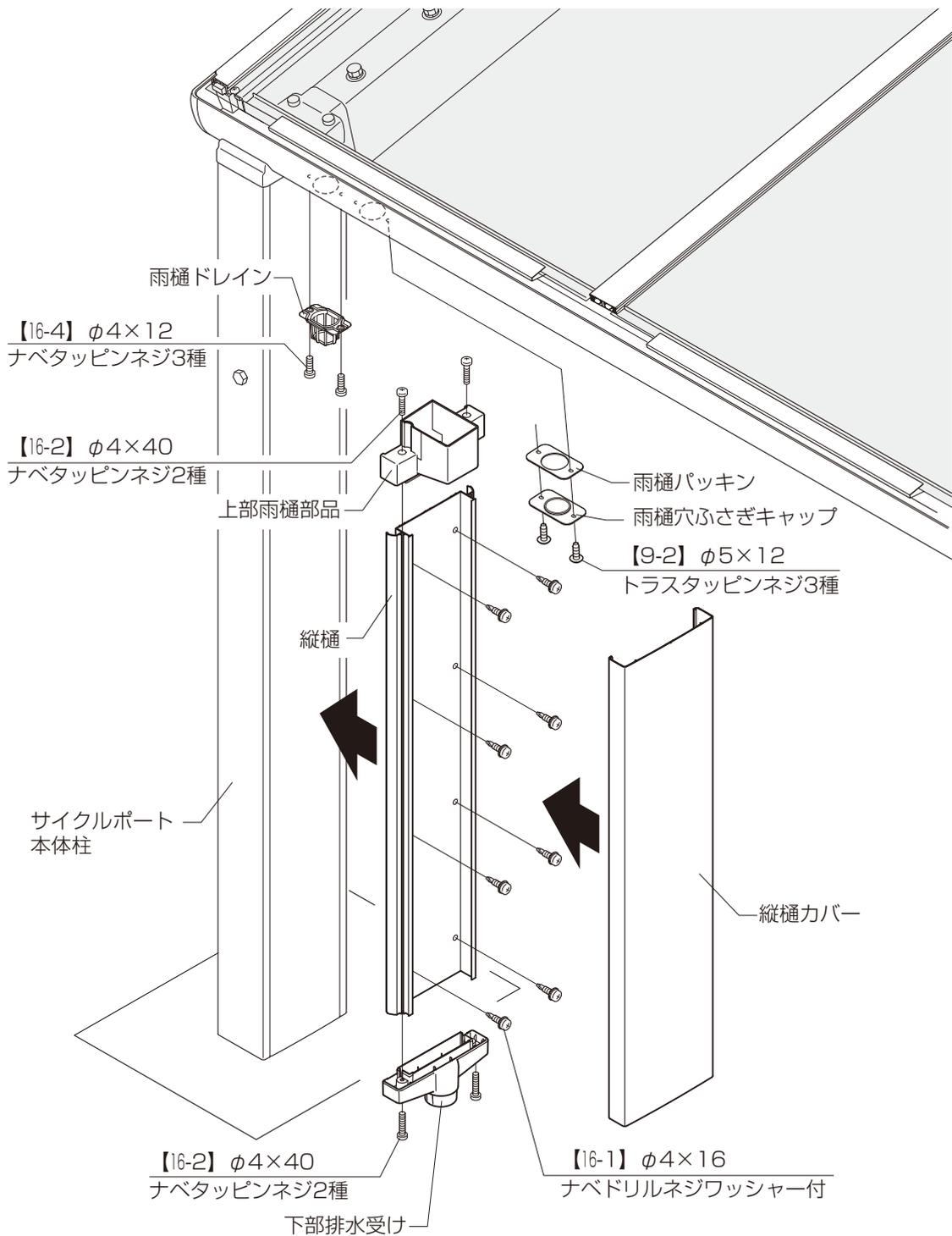
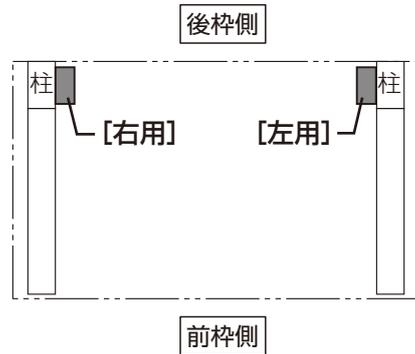
オプションの【スマート雨樋】を施工する場合の作業です。

構造図

補足

本製品は「前枠側」から見て、
 【柱の左に取付ける場合：左用】
 【柱の右に取付ける場合：右用】です。

■：スマート雨樋

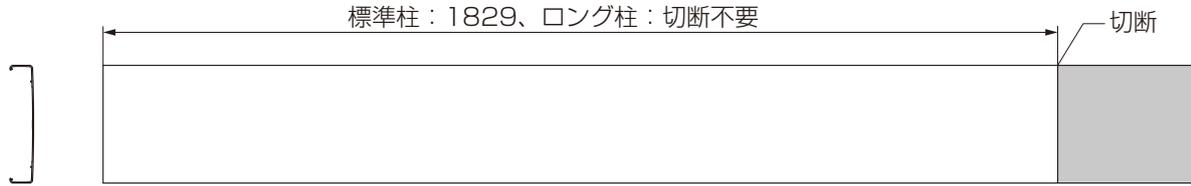


1 部材の加工

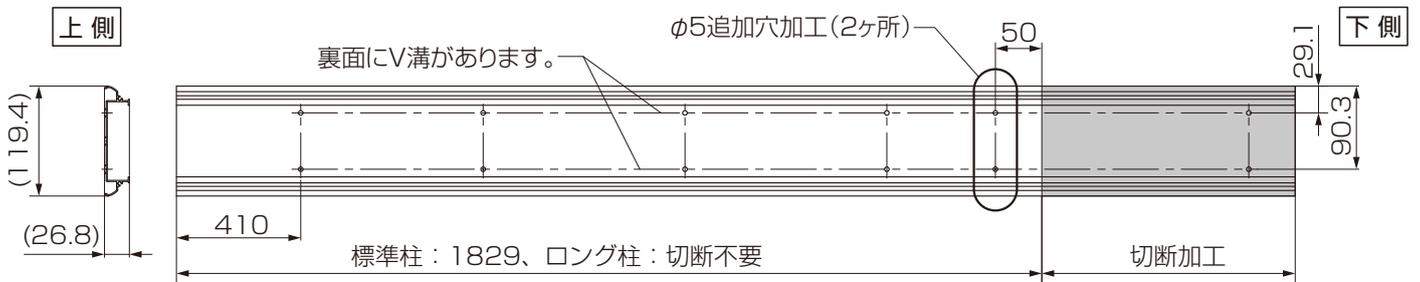
補 足

本取付説明書は「左用」を示しています。「右用」は対称の加工になります。

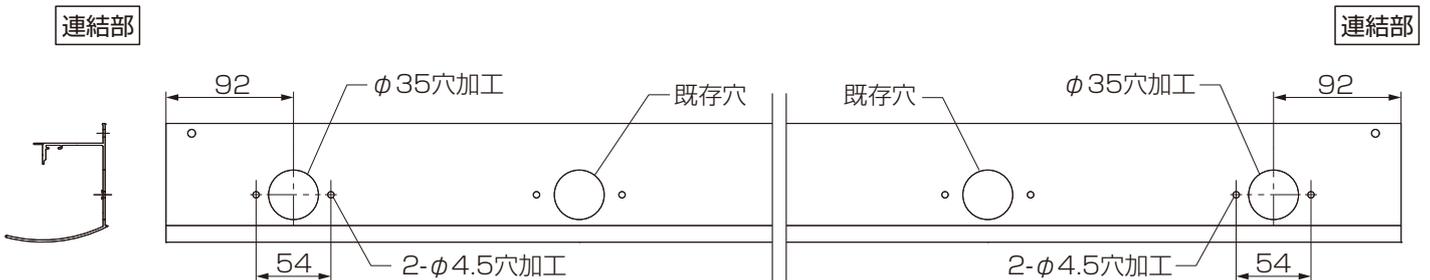
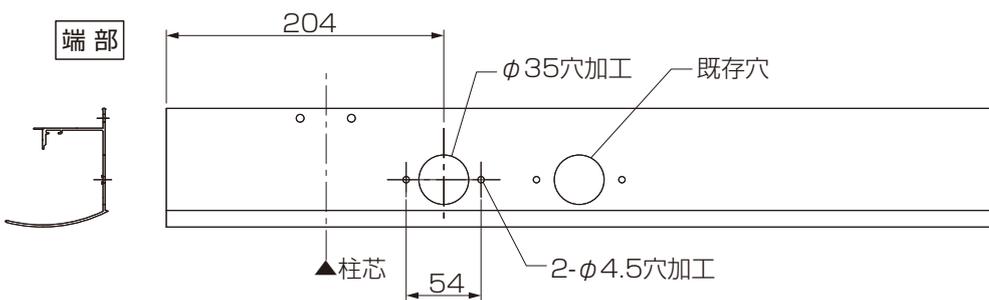
□ 縦樋カバー



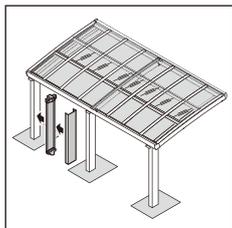
□ 縦樋



□ 後枠



3 縦樋の取付け



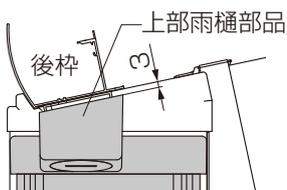
- ①組み立てた縦樋を柱に【16-1】で取付けてください。
- ②縦樋カバーを縦樋にはめ込んでください。

お願い

指定の箇所には必ずシーリングをしてください。

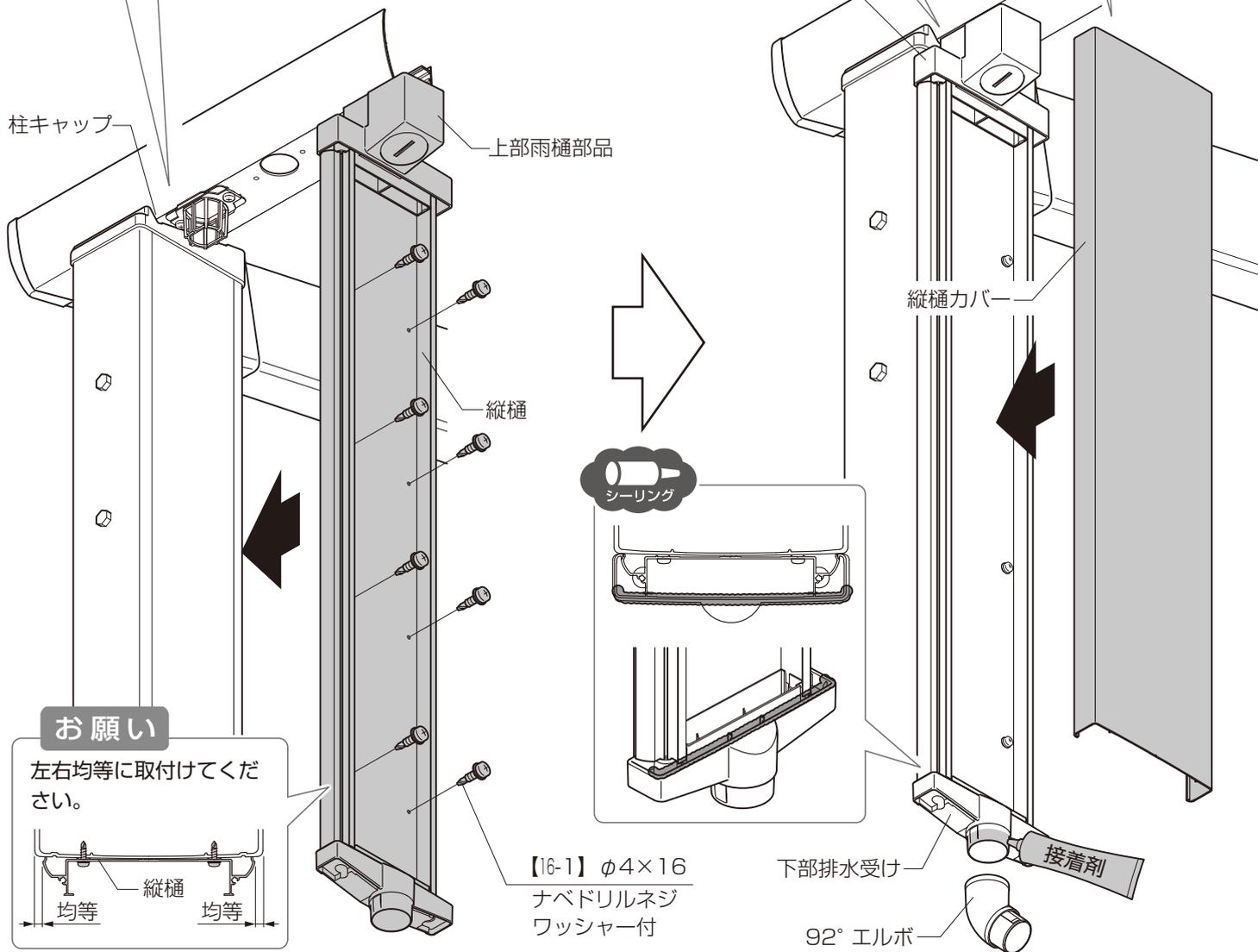
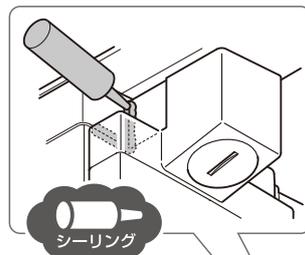
お願い

後枠と約3mmすき間をあけて取付けてください。



補足

上部雨樋部品や下部排水受けに干渉し、縦樋カバーがはめ込みづらい場合は、縦樋カバーを切断して取付けてください。



お願い

左右均等に取付けてください。



取説コード

E410

JZZ630631
201505A_1048